

**都民のライフスタイル志向とエコ行動の関連性  
に関する実態調査**

**平成 29 年度**

**公益財団法人 東京都環境公社**

**東京都地球温暖化防止活動推進センター**

**平成 30 年 7 月**

## 目次

1. 調査目的.....	3
2. 調査概要.....	3
(1) 調査時期.....	3
(2) 調査対象.....	3
(3) 調査方法.....	3
(4) 回答者の属性 .....	3
(5) 調査項目 .....	4
3. 調査内容.....	5
4. 調査結果.....	7
(1) 設問1の回答結果 .....	7
(2) 設問2の回答結果 .....	8
(3) 設問3の回答結果 .....	9
(4) 設問4の回答結果 .....	14
5. 調査結果の分析手法（概要） .....	20
(1) 因子分析.....	20
(2) クラスタ分析 .....	21
(3) クロス集計 .....	21
6. 考察①：各グループのエコ行動に対する考え方.....	22
(1) グループ1 .....	22
(2) グループ2 .....	23
(3) グループ3 .....	25
(4) グループ4 .....	27
(5) グループ5 .....	31
7. 考察②：各グループへの普及啓発方法 .....	32
(1) グループ1の普及啓発方法.....	32
(2) グループ2の普及啓発方法.....	32
(3) グループ3の普及啓発方法.....	33
(4) グループ4の普及啓発方法.....	34
(5) グループ5の普及啓発方法.....	35
8. 付録（その他の調査結果など） .....	36
(1) 調査項目の選定方法について.....	36
(2) 調査結果の分析方法（詳細） .....	38
(3) クロス集計結果.....	41
9. 調査票 .....	57
10. 謝辞.....	81

# 1. 調査目的

都民の求めるライフスタイルが多様化する中、エコ行動もそうした様々なライフスタイルと関連して行われているのではないかと。とりわけ自身のライフスタイルと合わないエコ行動の実践は、「エコ疲れ」の要因となることが推察される。

そこで都民のライフスタイル志向およびエコ行動の実施状況と「続けている理由」と「やめてしまった理由」を調査することで、都民の求めるライフスタイルとエコ行動の関連性を考察した。またその考察結果をもとに、それぞれのライフスタイル志向に合った普及啓発方法を考案した。

# 2. 調査概要

(1) 調査時期

平成 29 年 12 月

(2) 調査対象

都内在住、20 歳～79 歳（学生を除く）の男女

(3) 調査方法

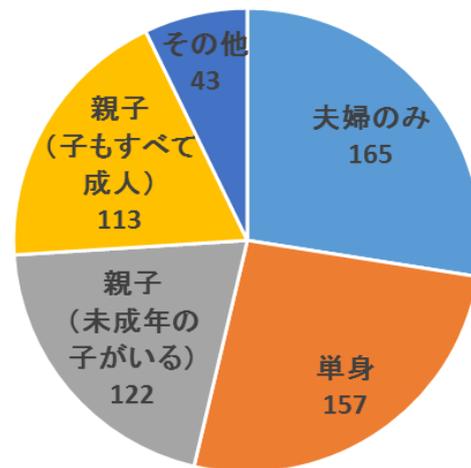
インターネット調査

(4) 回答者の属性

表 2-4-1: 回答者属性

性別	年代	回答数	割合
男性	20代	45	8%
	30代	59	10%
	40代	68	11%
	50代	50	8%
	60代	46	8%
	70代	34	6%
女性	20代	44	7%
	30代	56	9%
	40代	65	11%
	50代	46	8%
	60代	46	8%
	70代	41	7%
		600	100%

図 2-4-1: 家族構成割合（回答者全体）



※ 住民基本台帳に基づき、男女別の 20 代～70 代の人口構成比により、年齢・性別別にサンプル数を割り付け

(5) 調査項目

表 2-5-1:調査項目一覧表

大項目	中項目	質問内容
1. 基礎情報	—	・年齢
		・性別
		・居住地域
		・同居家族形態
2. 生活における価値観	—	34のライフスタイル項目に沿った「生活に求めること」の調査
3. 実施状況	3. 1 エコ行動の実施状況	10のエコ行動について実施状況の調査
	3. 2 行動を実施しなくなった理由(中断理由)	10のエコ行動のうち、中断した理由の調査
	3. 3 行動を実施している理由(実施理由)	10のエコ行動のうち、現在も実施している理由の調査
4. 情報接触度	4. 1 一般的な情報の情報源	普段使用している情報源の調査
	4. 2 環境に関する情報の接触頻度	環境に関する情報に触れる頻度の調査
	4. 3 環境に関する情報の情報源	環境に関する情報について使用している情報源の調査

### 3. 調査内容

本調査では、都民のライフスタイルとエコ行動のつながりを考察するため、都民がライフスタイルで求めることと、エコ行動の実施状況について質問した。

- 設問1で、アンケート回答者のライフスタイルを調査し、その結果を基に分析手法を用いて大きく5つのグループ分けをおこなった
- 設問2では、具体的なエコ行動の取組実施状況を調査
- 設問3、4で、エコ行動を「継続している理由(実施理由)」と「中断してしまった理由(中断理由)」を調査

表 3-1: 設問一覧表

設問	内容
1	<p>「以下の生活に関する各項目について、あなたがライフスタイルや日常生活の中で求める要素について回答してください」</p> <p><u>本調査で取り上げたライフスタイル項目(例)</u></p> <p>(1)他人から良い評価・評判を受けること            (2)常日頃から社会の最新動向に触れられていること            (3)使い捨てを減らすなど物を大切にすること            (4)お金が掛からないこと など… 34 要素 (表 4-1-1 参照)</p> <p>設問1では、34 のライフスタイル項目ごとに「強く求める/求める/あまり求めない/必要ない」の4段階評価で回答してもらい、各回答者のライフスタイルの趣向について調べた。</p>
2	<p>「下記の日常の生活行動について、あなたの実施状況として当てはまるものを回答してください」</p> <p><u>本調査で取り上げた「10のエコ行動」</u></p> <p>① 使用していない部屋の照明は消す            ② 洗濯物はまとめて洗濯する            ③ 家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える            ④ 夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする            ⑤ 窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する            ⑥ 庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う            ⑦ 手作り弁当を持参する</p>

	<p>⑧ フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする  ⑨ 国産または地域産の食材を選択して購入する  ⑩ 近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する</p> <p>設問2では、今回取り上げた10のエコ行動ごとに回答者の実施状況について、「実施している/以前実施していた(が現在は実施していない)/実施した経験はない・あてはまらない」の3つの選択肢から該当するものを回答してもらった。</p>
3	<p>「設問2で「以前実施していた」と回答した行動について、実施しなくなった理由についてお答えください。」</p> <p><u>行動の中断理由(例)</u>  (1)始めてみたが、気に掛けることが面倒に感じたから  (2)金銭の節約効果を感じなかったから  (3)防犯上不在でも照明をつけるようになったから など… 行動ごとに理由を設定</p> <p>設問3では、設問2で「以前実施していた(が現在は実施していない)」を選択した行動について、行動を中断してしまった理由を回答してもらった。中断理由については、こちらであらかじめ用意した選択肢の中からあてはまるものをすべて選択してもらった。</p>
4	<p>「設問2で「実施している」と回答した行動について、現在実施している理由についてお答えください。」</p> <p><u>行動の実施理由(例)</u>  (1)照明の使用を抑え、金銭の節約になるから  (2)つけっぱなししているともったいないと感じ、気になるから  (3)自分のこだわりやライフスタイルに合っているから など… 行動ごとに理由を設定</p> <p>設問4では、設問2で「実施している」を選択した行動について、行動を継続している理由を回答してもらった。継続理由については、こちらであらかじめ用意した選択肢の中からあてはまるものをすべて選択してもらった。</p>

## 4. 調査結果

### (1) 設問1の回答結果

生活のゆとりや健康・清潔に関する項目などが多く求められ、人や社会とのつながりや変化や新しさに関する項目などはあまり求められない結果となった。

表 4-1-1: 34 のライフスタイル項目と設問1の回答結果

34のライフスタイル項目	回答数/ 選択率	強く求める	求める	あまり 求めない	必要ない
1.他人から良い評価・評判を受けること	600 100.0	59 9.8	237 39.5	247 41.2	57 9.5
2.常日頃から社会の最新動向に触れられていること	600 100.0	52 8.7	252 42.0	244 40.7	52 8.7
3.家族とのつながりが強いこと	600 100.0	155 25.8	294 49.0	126 21.0	25 4.2
4.地域や近所どうして助け合いがあること	600 100.0	15 2.5	223 37.2	315 52.5	47 7.8
5.他人との交流や接触機会が多いこと	600 100.0	37 6.2	215 35.8	303 50.5	45 7.5
6.共通の趣味を分かち合える相手がいること	600 100.0	86 14.3	291 48.5	183 30.5	40 6.7
7.精神的に負担が少ないこと	600 100.0	200 33.3	312 52.0	68 11.3	20 3.3
8.静かな環境で暮らすこと	600 100.0	130 21.7	356 59.3	99 16.5	15 2.5
9.ゆとりある時間を過ごすこと	600 100.0	208 34.7	331 55.2	49 8.2	12 2.0
10.防犯・防災など安全面が確保されていること	600 100.0	178 29.7	342 57.0	64 10.7	16 2.7
11.使い捨てを減らすなど物を大切にすること	600 100.0	86 14.3	364 60.7	136 22.7	14 2.3
12.食べ残しを減らすなど食べ物を大切にすること	600 100.0	160 26.7	348 58.0	84 14.0	8 1.3
13.周囲に良好な自然環境が保たれていること	600 100.0	123 20.5	379 63.2	90 15.0	8 1.3
14.自然に触れ、感じられる機会があること	600 100.0	108 18.0	357 59.5	122 20.3	13 2.2
15.清潔であること	600 100.0	190 31.7	353 58.8	50 8.3	7 1.2
16.健康的であること	600 100.0	295 49.2	258 43.0	42 7.0	5 0.8
17.お金が掛からないこと	600 100.0	130 21.7	366 61.0	98 16.3	6 1.0
18.自分が活躍できる機会があること	600 100.0	80 13.3	295 49.2	203 33.8	22 3.7
19.生活リズムや環境の変化が少ない、安定的な暮らしであること	600 100.0	139 23.2	364 60.7	85 14.2	12 2.0
20.周囲の人々と同じように暮らすこと	600 100.0	36 6.0	248 41.3	273 45.5	43 7.2
21.「もったいない」と思うことを減らすこと	600 100.0	100 16.7	349 58.2	132 22.0	19 3.2
22.生活に必要な労力を最小限に抑えること	600 100.0	88 14.7	349 58.2	147 24.5	16 2.7
23.時間の使い方に無駄がないこと	600 100.0	126 21.0	324 54.0	134 22.3	16 2.7
24.人間関係や環境などに縛られず身軽であること	600 100.0	140 23.3	356 59.3	93 15.5	11 1.8
25.何でも自分で選択できること	600 100.0	128 21.3	370 61.7	95 15.8	7 1.2
26.生活に自分なりのこだわりを持つこと	600 100.0	116 19.3	363 60.5	111 18.5	10 1.7
27.達成感が得られること	600 100.0	103 17.2	356 59.3	126 21.0	15 2.5
28.自分を成長させられること	600 100.0	111 18.5	328 54.7	145 24.2	16 2.7
29.刺激や変化があること	600 100.0	64 10.7	250 41.7	252 42.0	34 5.7
30.新しい物を積極的に取り入れること	600 100.0	62 10.3	252 42.0	256 42.7	30 5.0
31.養沢感があること	600 100.0	43 7.2	227 37.8	281 46.8	49 8.2
32.一人の時間などプライベートが確保されていること	600 100.0	177 29.5	335 55.8	74 12.3	14 2.3
33.生活を楽しむこと	600 100.0	201 33.5	344 57.3	42 7.0	13 2.2
34.愛着が持てる物に囲まれていること	600 100.0	108 18.0	356 59.3	120 20.0	16 2.7

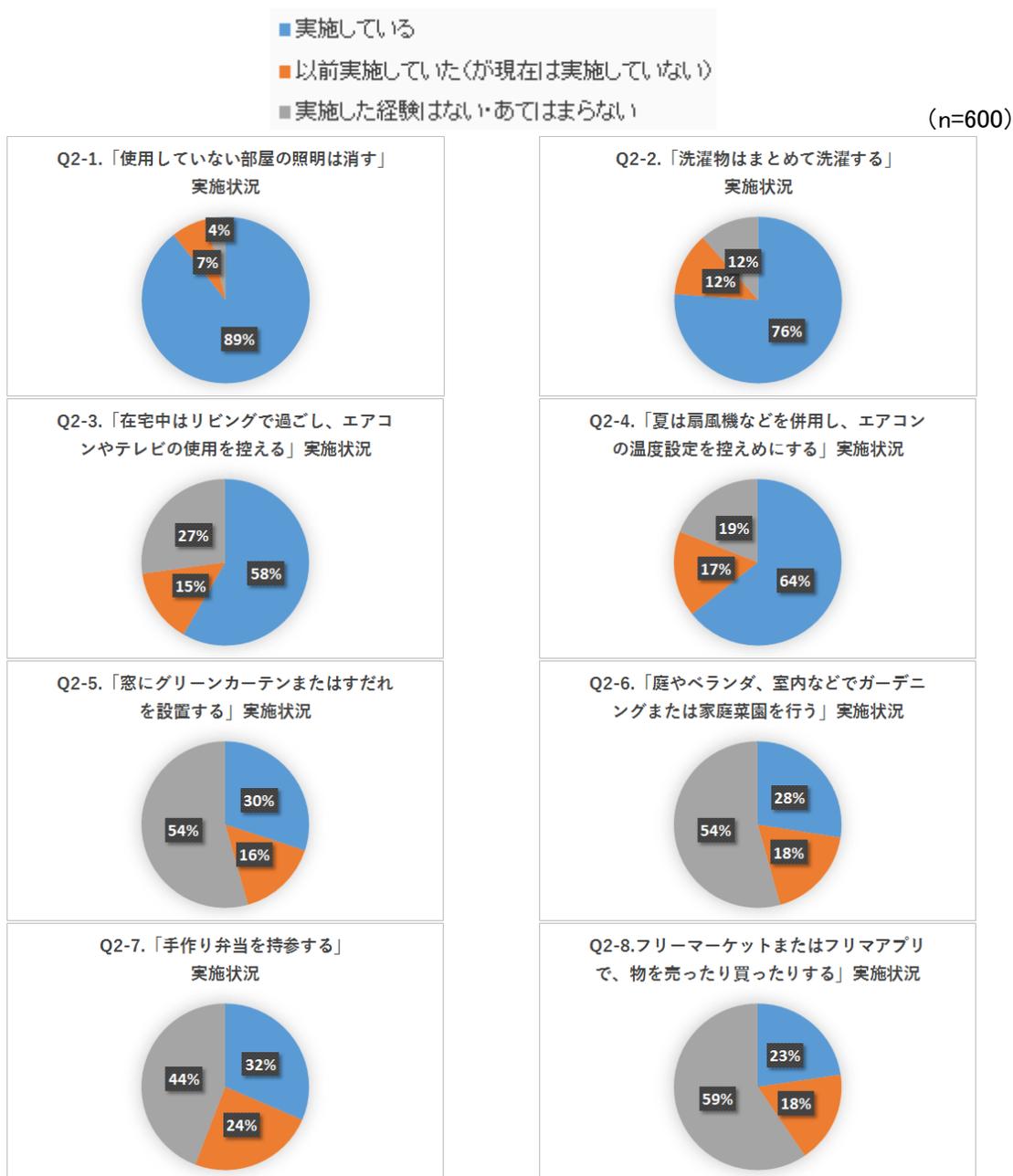
※四捨五入の関係で、合計が100%にならないことがあります

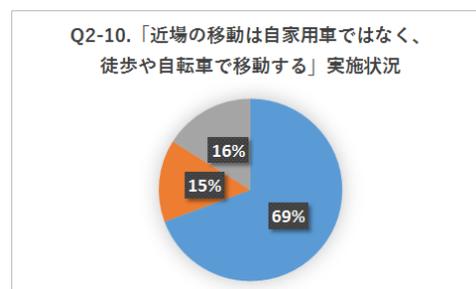
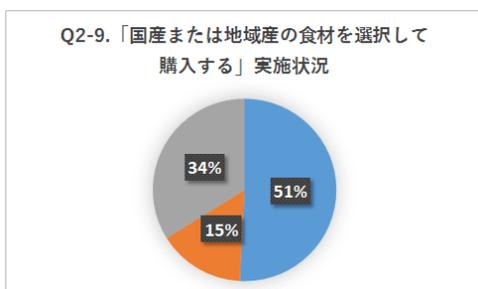
(2) 設問2の回答結果

10のエコ行動の実施状況

照明の消灯や洗濯など日常の生活行動の中で取組めるエコ行動の実施率は比較的高いが、ガーデニングやフリーマーケットなど日常の生活行動の中で取組みにくいエコ行動は実施率が下がる傾向が見られる。

図 4-2-1: 10のエコ行動の実施状況





### (3) 設問3の回答結果

#### エコ行動の中断理由

実施しなくなった理由は、10のエコ行動のうち7つの行動で、「金銭の節約効果を感じなかったから」など期待していた効果を得られないことや、「始めてみたが、気に掛けることが面倒に感じたから」など手間や時間が掛かることが理由として選択された。(例: Q3-1、Q3-4 など)

ただし、以下のエコ行動についてはその行動の特徴に沿った要因が高くなっている。

- 洗濯物はまとめて洗濯する: 「洗濯物が溜まっていることが不衛生に感じたから」
- 家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える: 「狭い空間で過ごしたり、一人で過ごす方がリラックスできるから」
- 手作り弁当を持参する : 「外出機会が減ったことなど持参する必要がなくなったから」

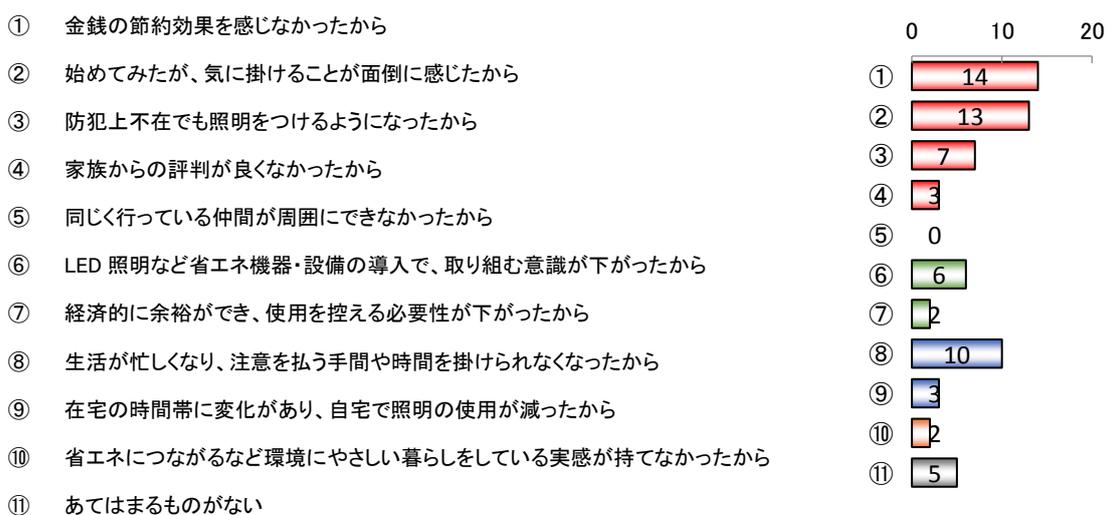
表 4-3-1: 各エコ行動の中断理由結果

※各選択肢の色分け(詳細は「8. 付録」を参照)

コスト的要因	内的要因	外的要因	社会規範
--------	------	------	------

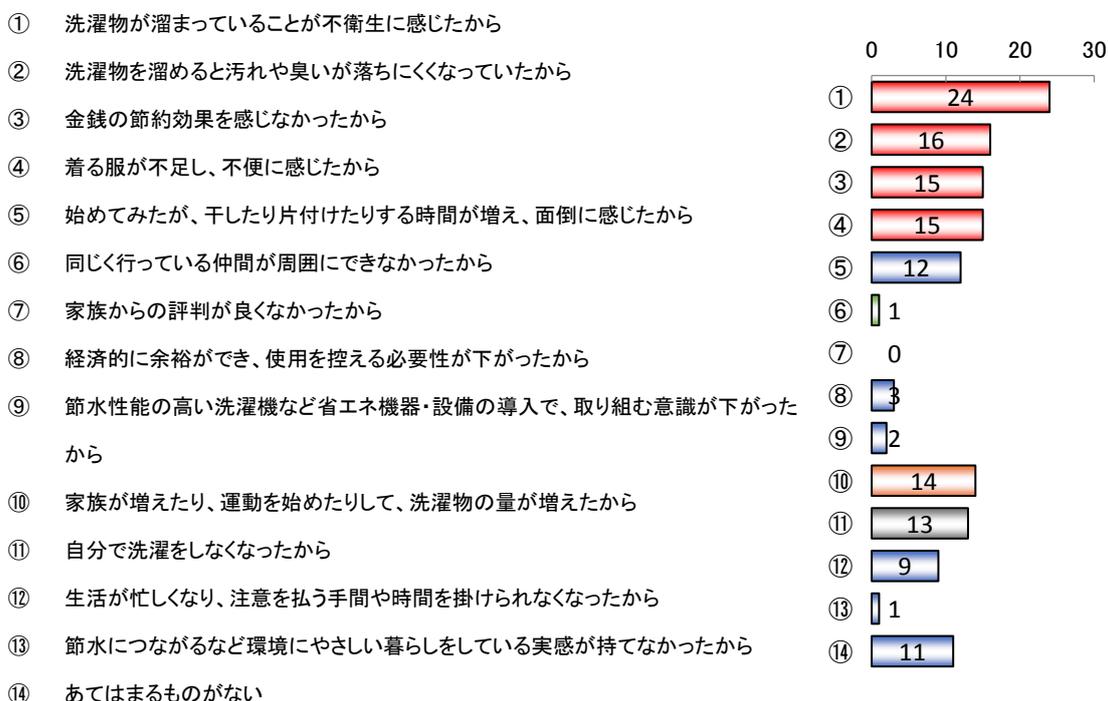
#### Q3-1「使用していない部屋の照明は消す」中断理由

(n=42)



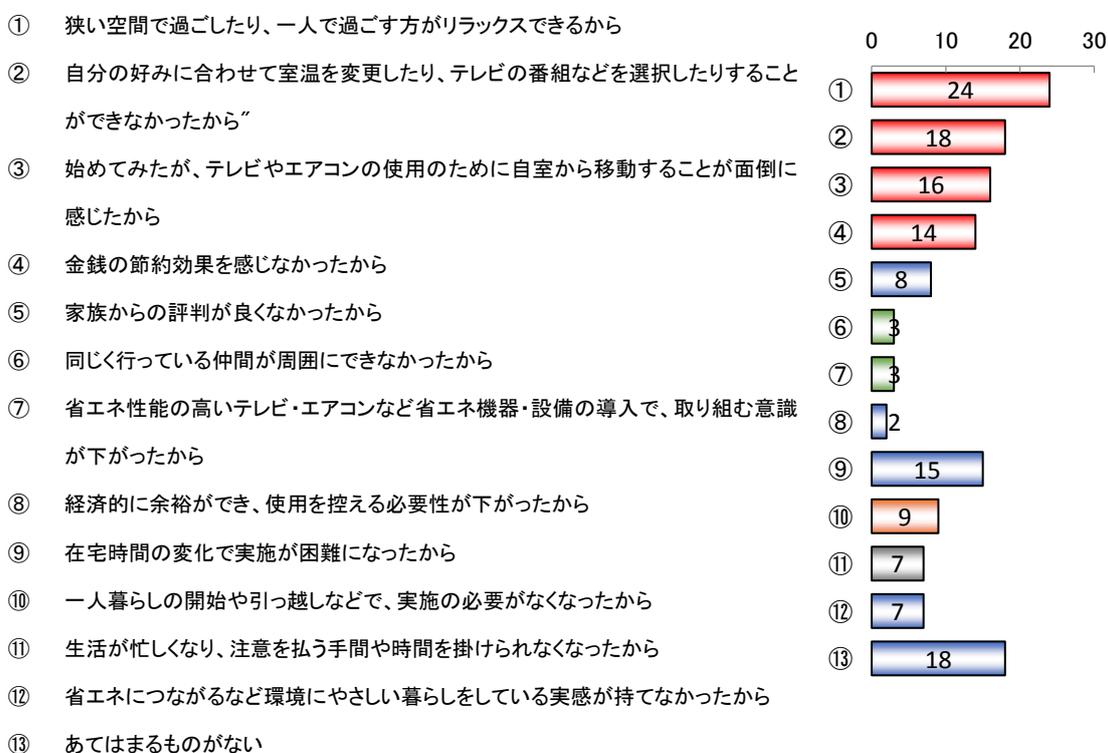
### Q3-2「洗濯物はまとめて洗濯する」中断理由

(n=74)

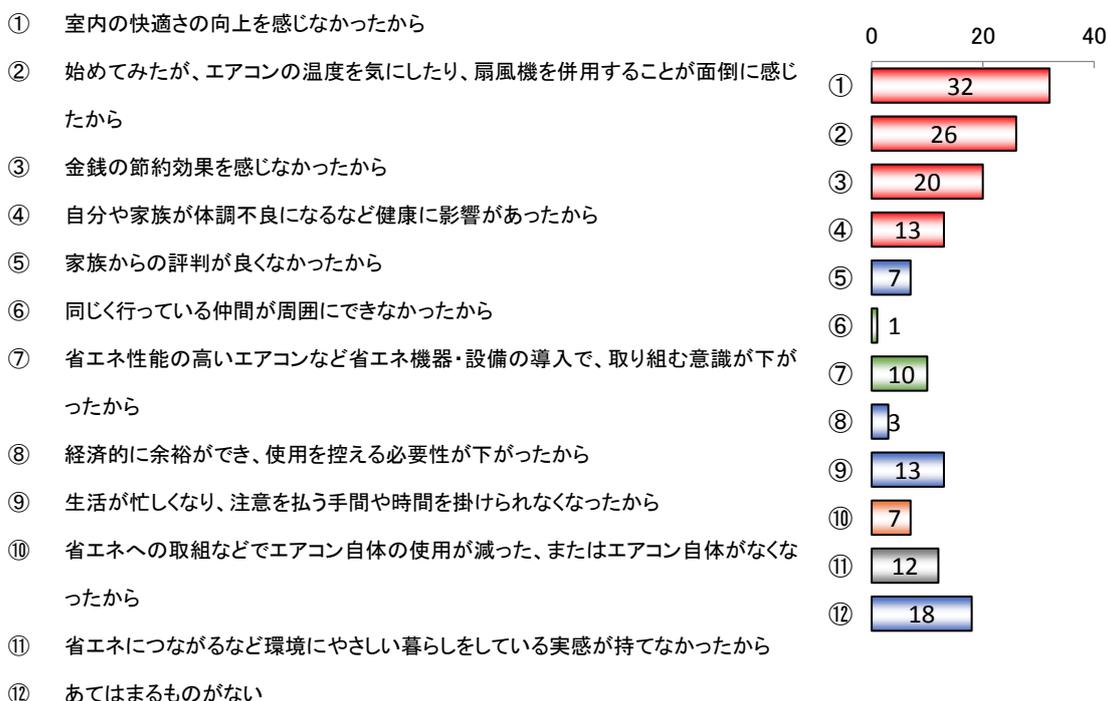


### Q3-3「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える」中断理由

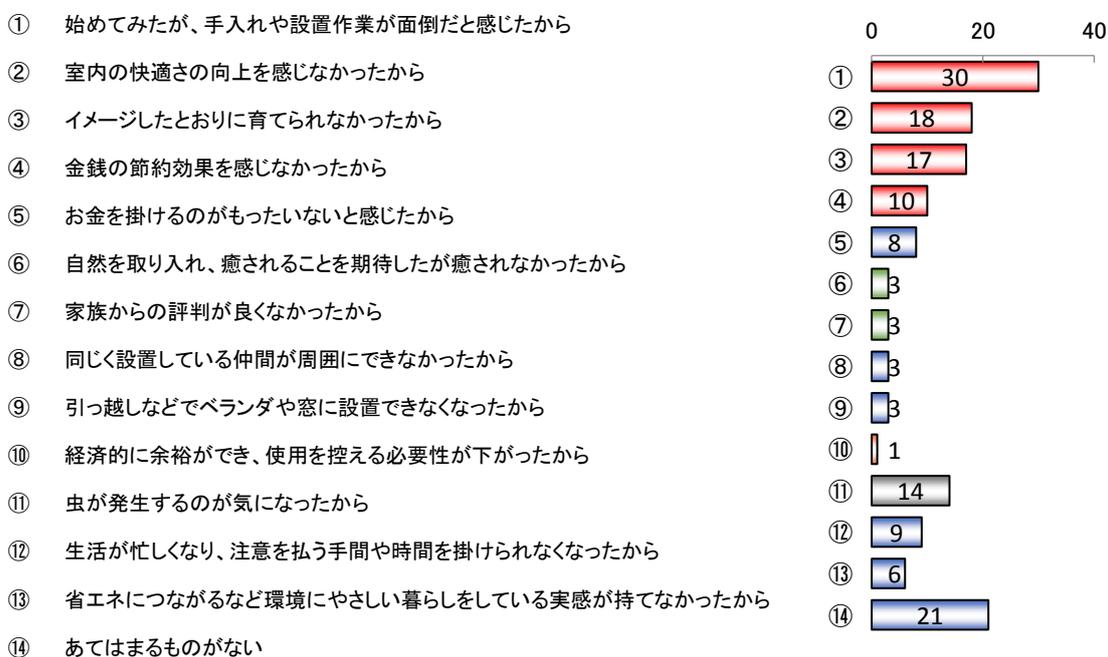
(n=87)



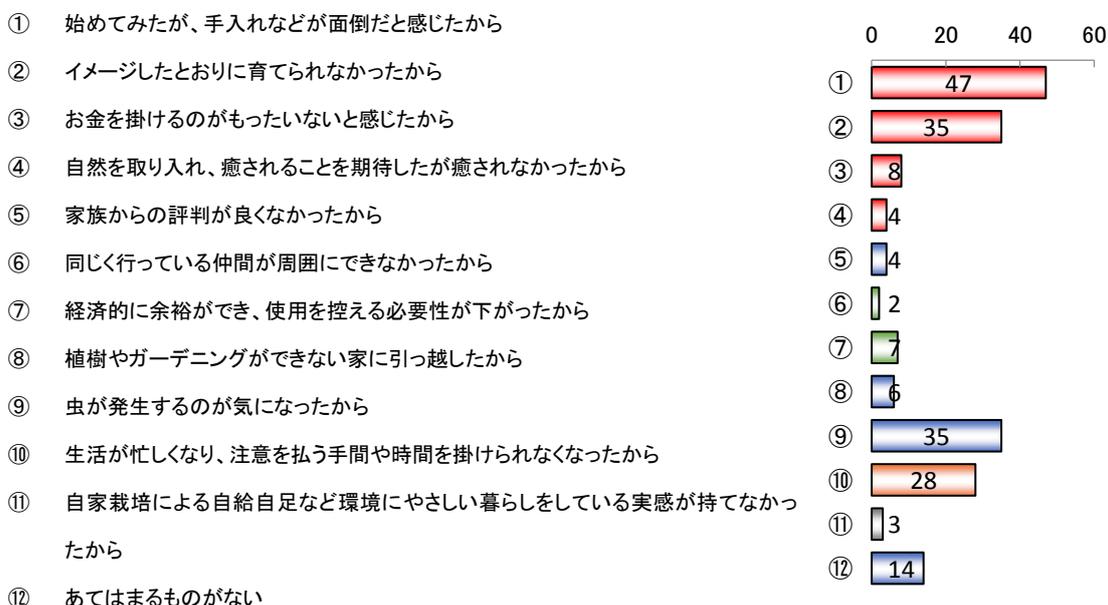
Q3-4「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする」中断理由 (n=100)



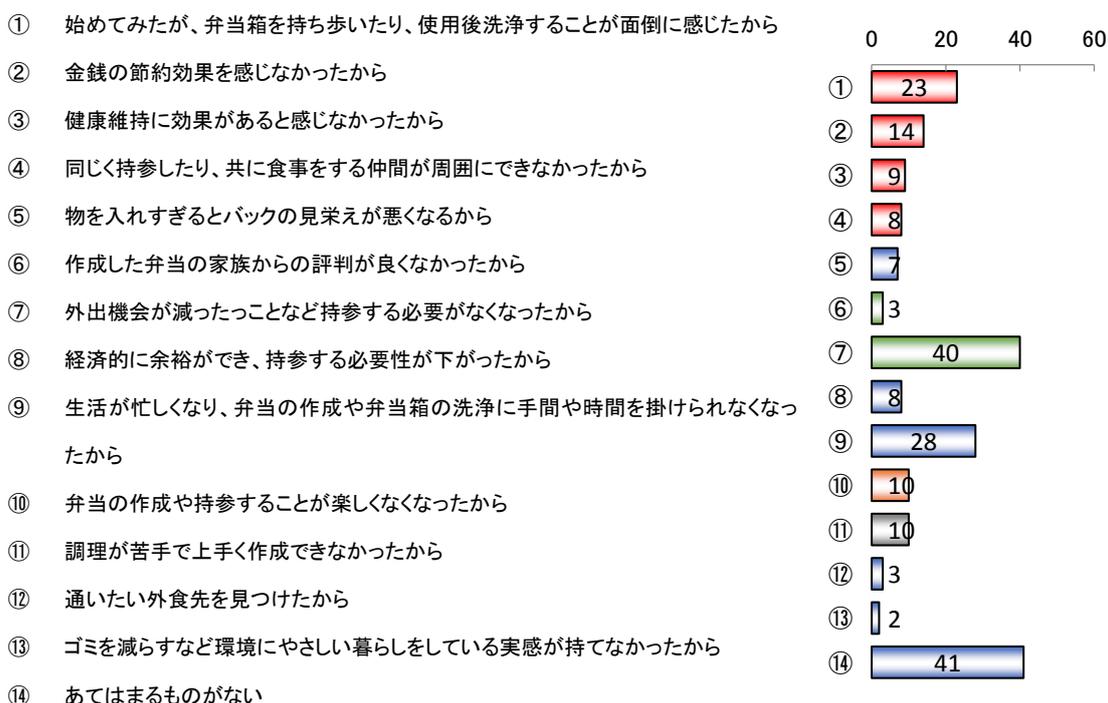
Q3-5「窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する」中断理由 (n=93)



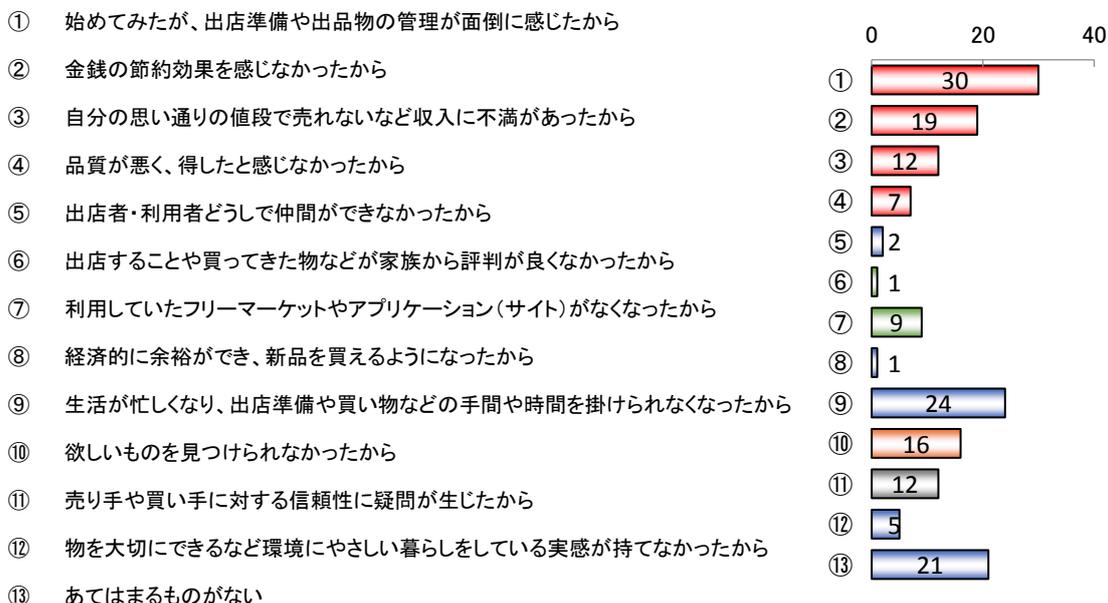
Q3-6「庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う」中断理由 (n=109)



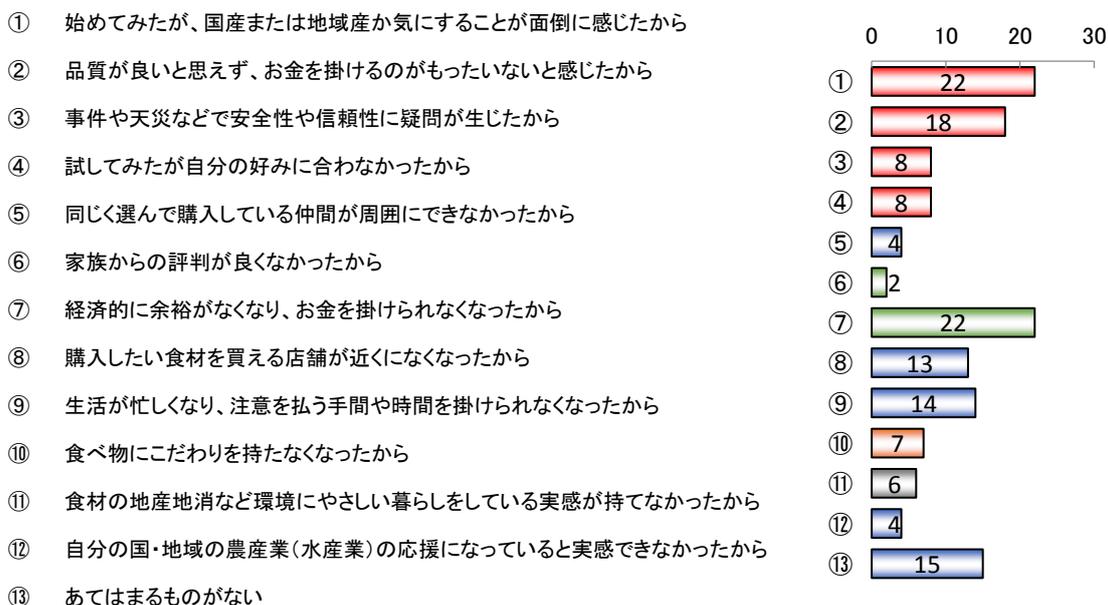
Q3-7「手作り弁当を持参する」中断理由 (n=146)



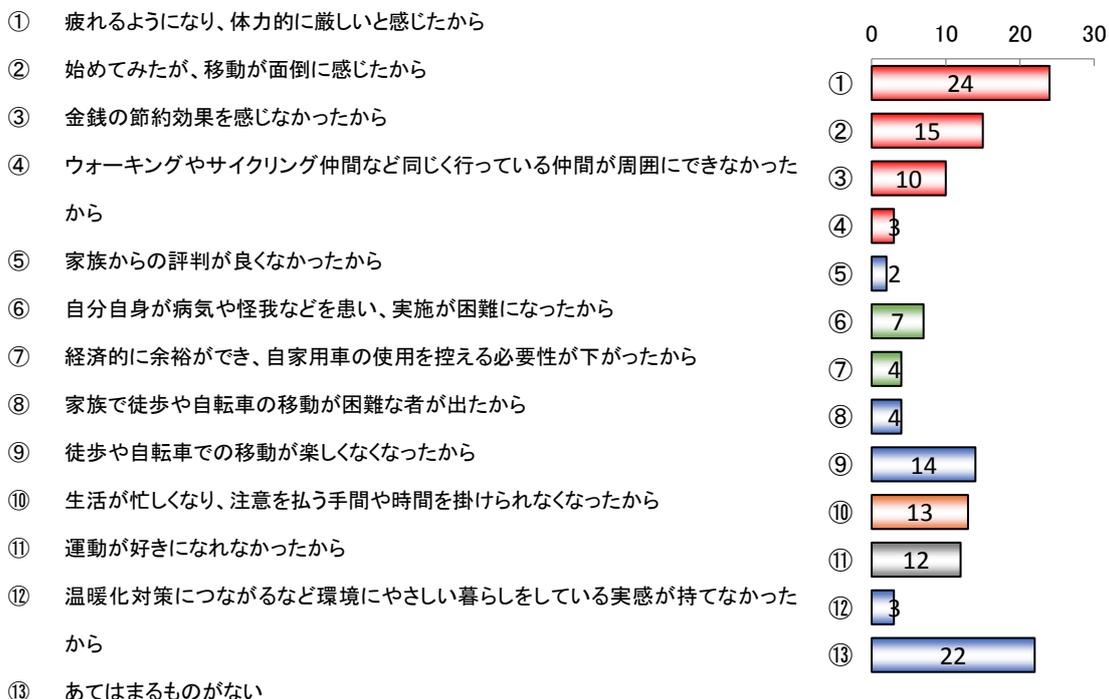
Q3-8「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」中断理由 (n=107)



Q3-9「国産または地域産の食材を選択して購入する」中断理由 (n=92)



Q3-10「近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する」中断理由 (n=92)



(4) 設問4の回答結果

エコ行動の実施理由

エコ行動を実施している理由について、金銭の節約が多くの行動において上位に挙がっている。エコ行動を実施することによって節約の効果があるということが、都民に浸透していると考えられる。

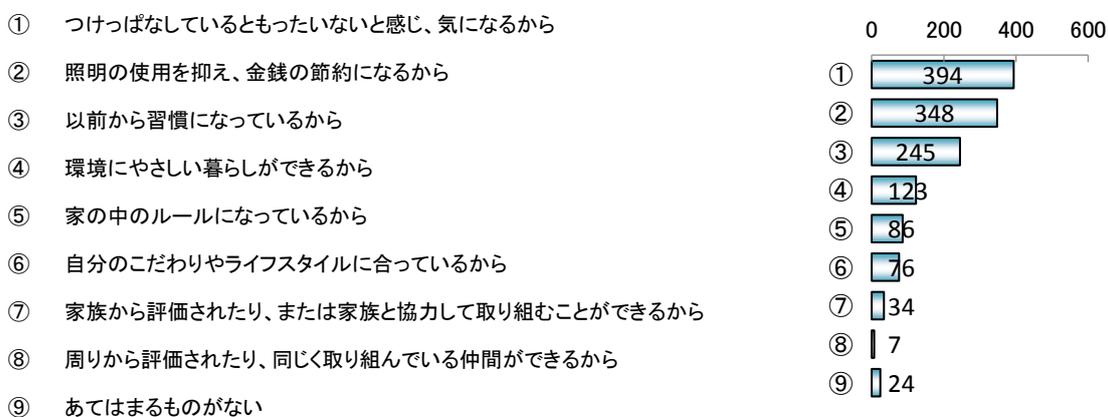
ただし、金銭の節約につながらない行動や、節約効果があってもその行動で得られる特定の効果の方が期待されている行動については、以下のような理由が多く選択された。

- 庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う：「自然に触れられるなど癒されるから」
- 国産または地域産の食材を選択して購入する：「国産または地域産の方が品質が良く、安心して買えるから」
- 近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する：「近場の移動ならその方が便利だから」

表 4-4-1: 各エコ行動の実施理由結果

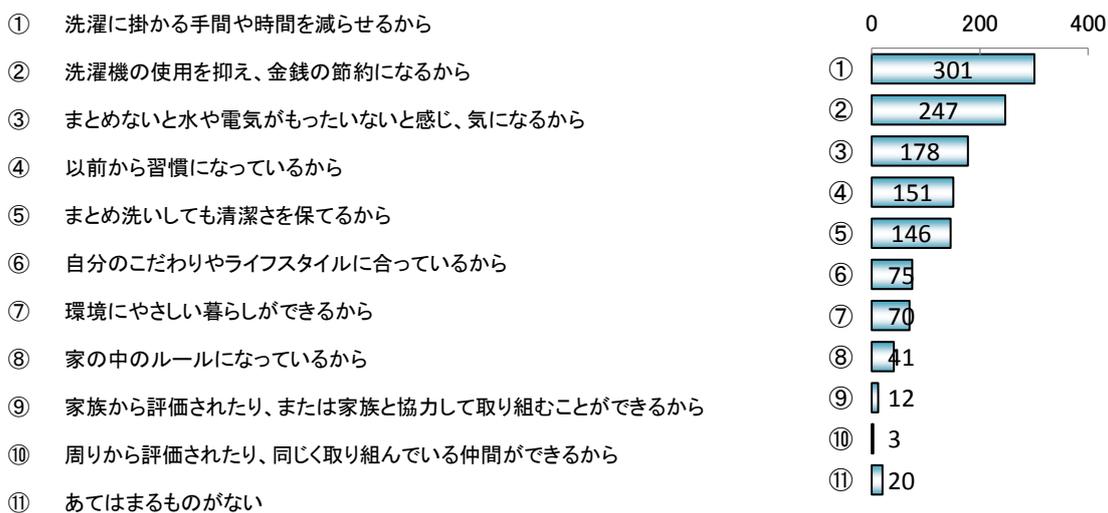
Q4-1「使用していない部屋の照明は消す」実施理由

(n=536)

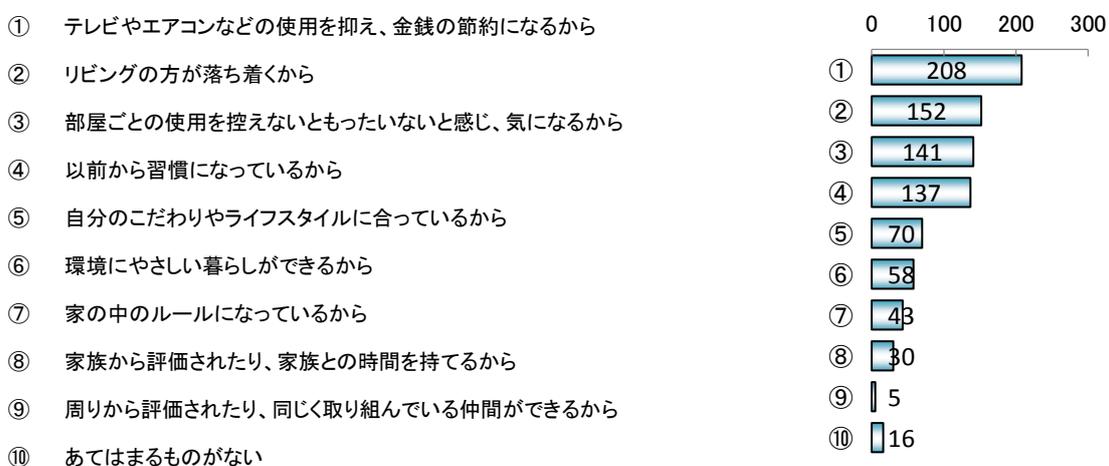


Q4-2「洗濯物はまとめて洗濯する」実施理由

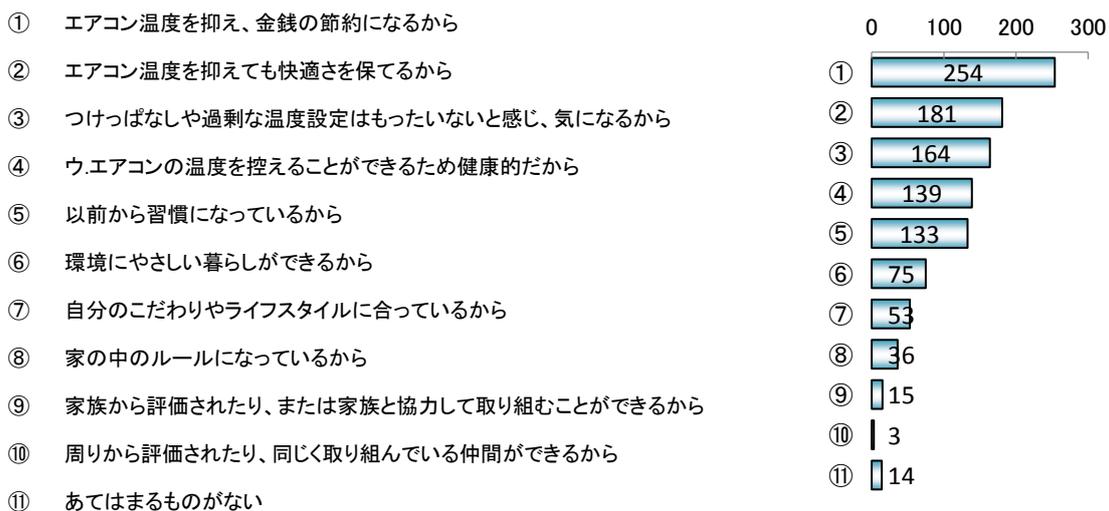
(n=457)



Q4-3「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を抑える」実施理由 (n=350)

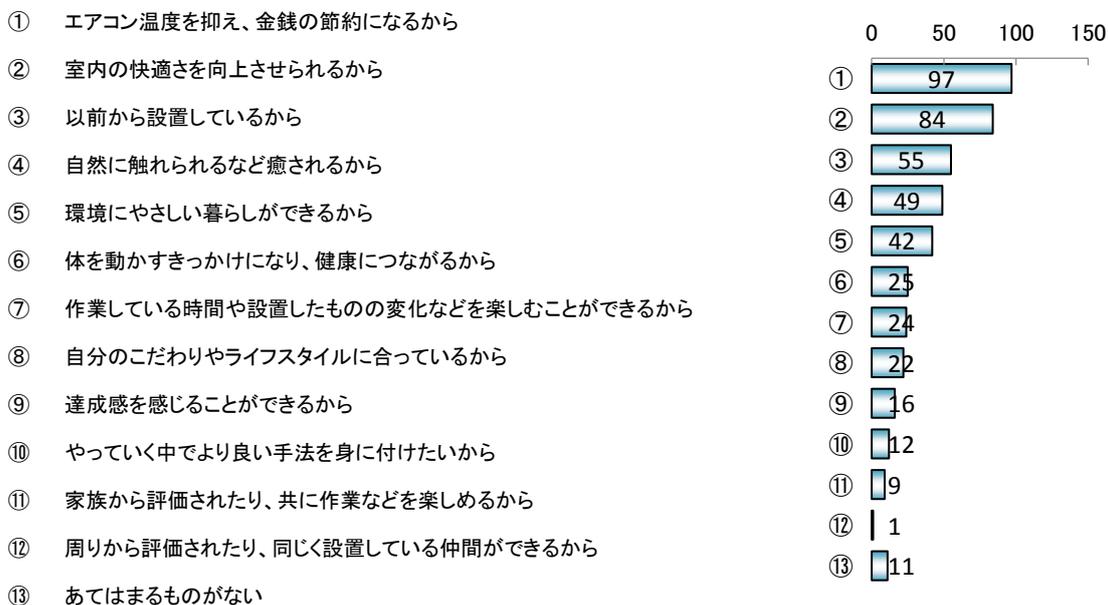


Q4-4「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を抑えめにする」実施理由 (n=386)



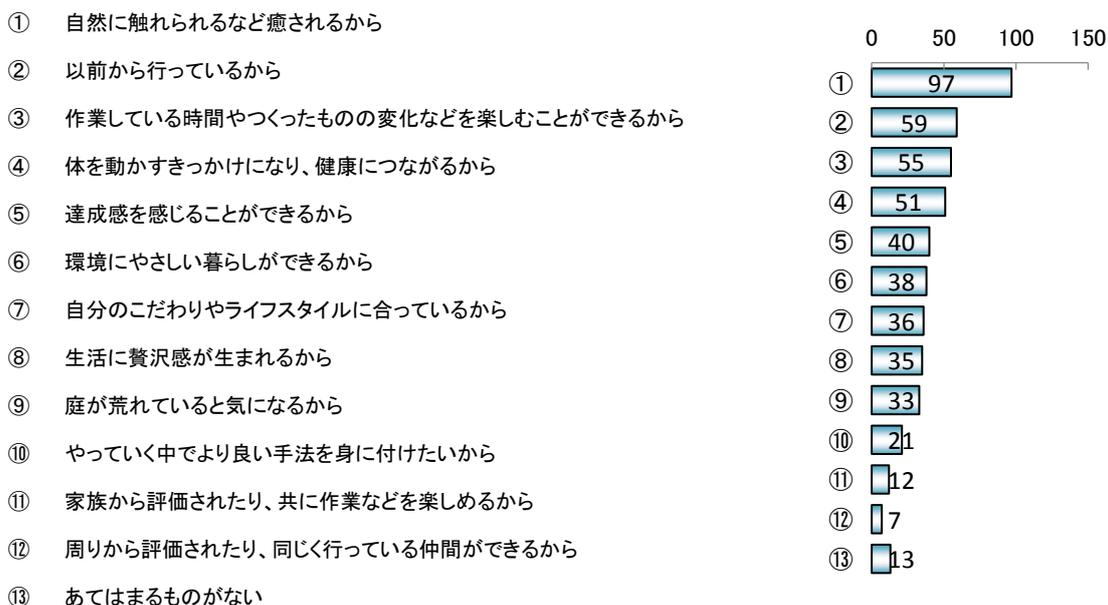
Q4-5「窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する」実施理由

(n=179)



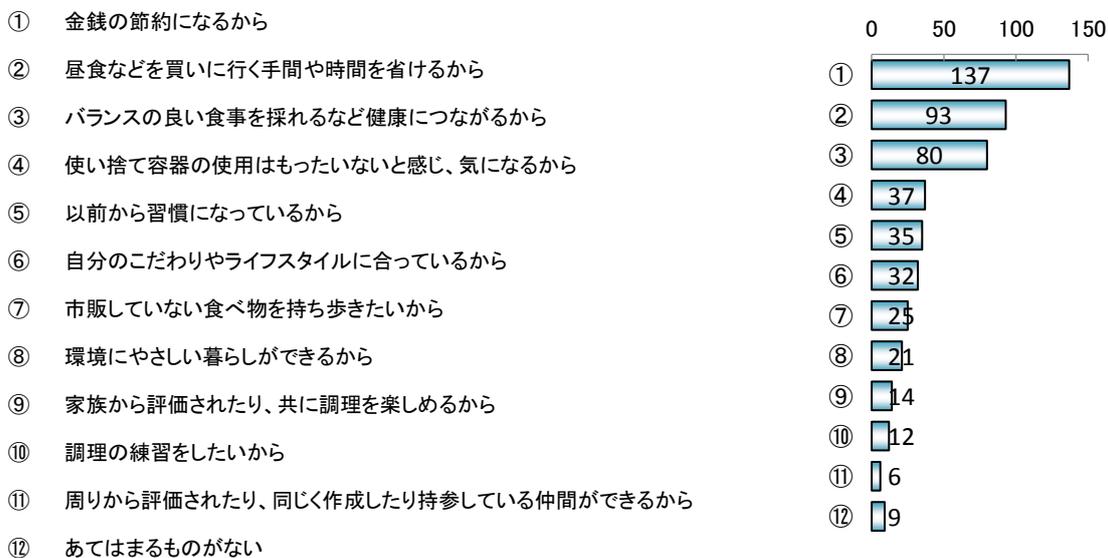
Q4-6「庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う」実施理由

(n=165)



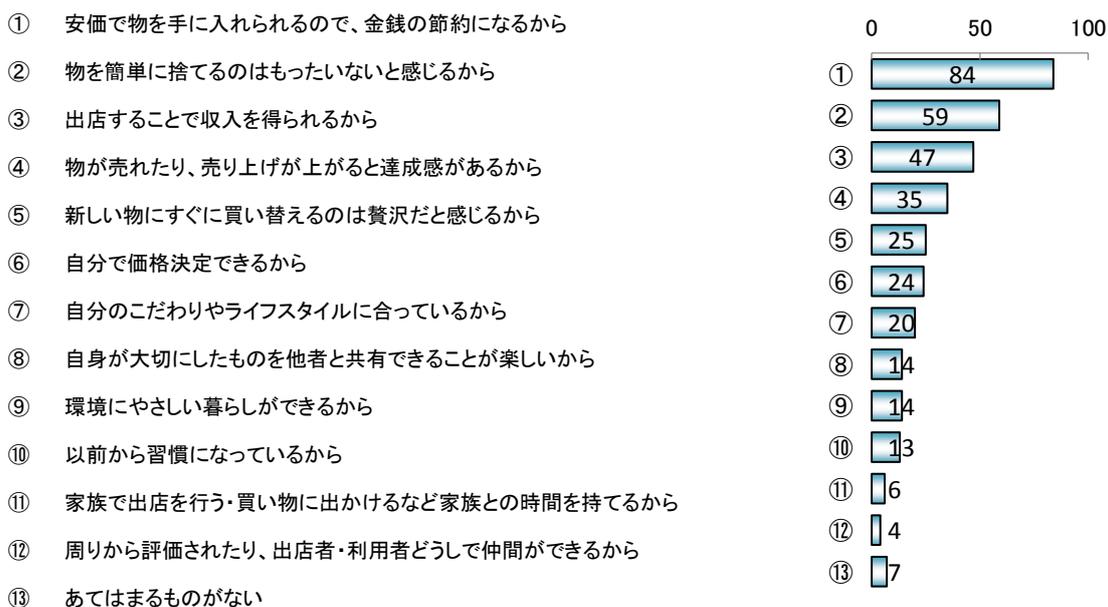
#### Q4-7「手作り弁当を持参する」実施理由

(n=189)



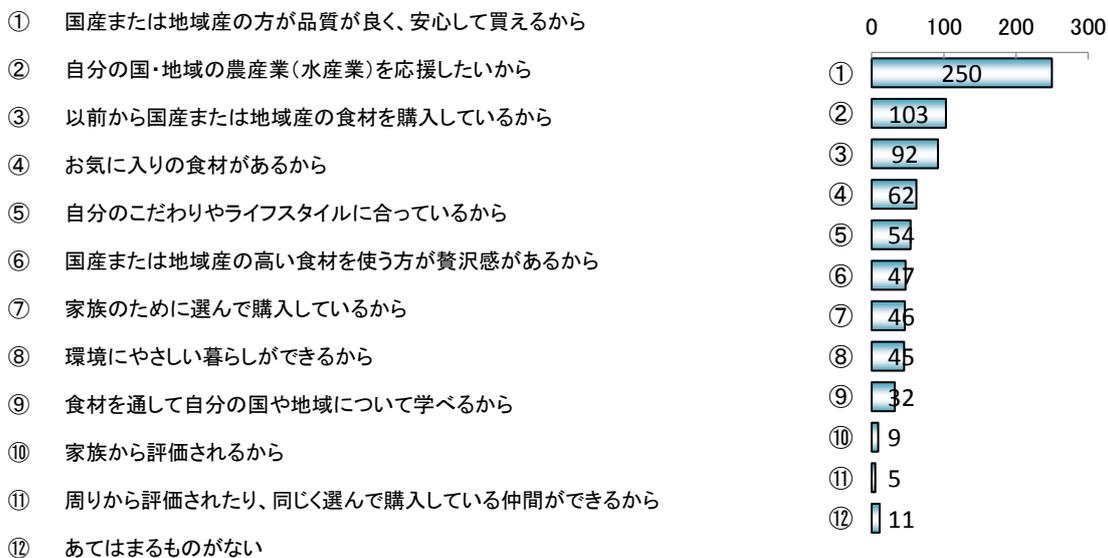
#### Q4-8「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」実施理由

(n=136)



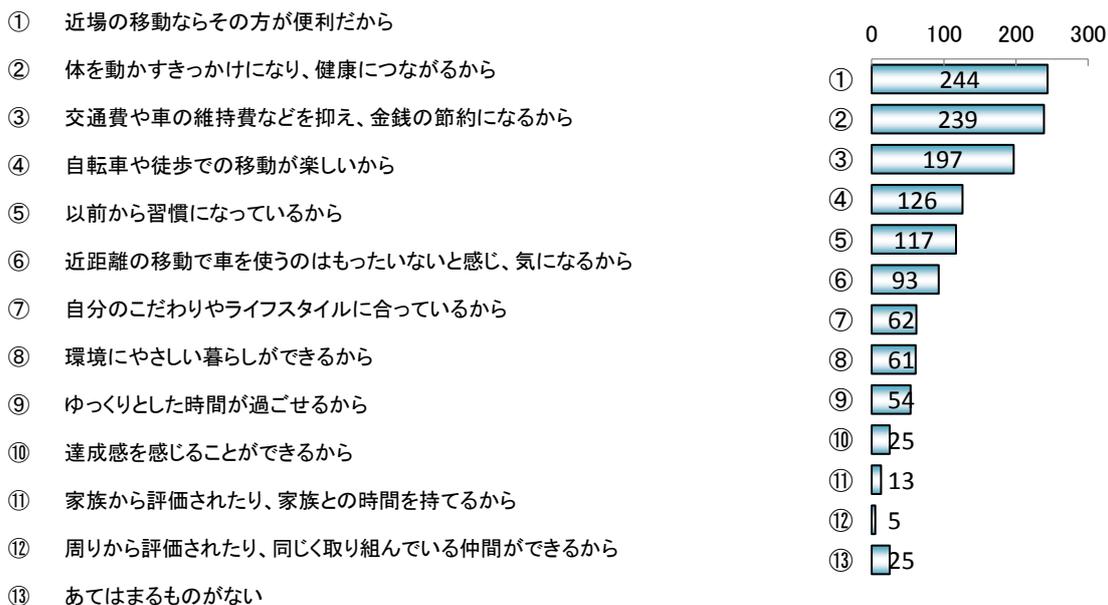
Q4-9「国産または地域産の食材を選択して購入する」実施理由

(n=305)



Q4-10「近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する」実施理由

(n=414)



## 5. 調査結果の分析手法（概要）

回答者をライフスタイル志向によって分類するため、設問1の回答結果をもとに、下記のような方法で分析を行った。（分析手法の詳細は「8. 付録」参照）

またライフスタイル志向とエコ行動の実施状況の関連性を調べるため、分析によって得られた回答者のグループと設問2～4の回答結果を掛け合わせ（クロス集計）、さらに分析を行った。

### （1）因子分析

34のライフスタイル項目について設問1の回答傾向をもとに、因子分析という手法によって7つの生活因子を抽出した。

表 5-1-1: 各因子説明

7つの因子	因子が表す価値観
<第一因子> 安定・プライベート重視因子	生活における <b>自身のスタイル</b> や、 <b>自分が良いと思う生活空間を守る</b> ことを重視
<第二因子> 先進・革新重視因子	<b>目新しい物を好み</b> 、こうした情報をいち早く手に入れることで、 <b>他に先んじて自身の生活に取り入れる</b> ことを重視
<第三因子> 儉約・自然環境重視因子	<b>自然に触れることを好み</b> 、また一般的に「 <b>環境を守るためにすべき</b> 」と考えられていることに関心を持ち、 <b>日常からエコに対する意識を持った生活を送る</b> ことを重視
<第四因子> 他人とのつながり重視因子	<b>他者とのつながり</b> や <b>助け合い</b> を重視
<第五因子> 効率性重視因子	<b>時間や手間などの効率性</b> を重視
<第六因子> 自己実現重視因子	生活の中でも積極的に <b>自己実現を目指す</b> ことを重視
<第七因子> 健康・清潔重視因子	<b>自身の健康</b> や <b>生活環境の清潔さ</b> を重視

## (2) クラスタ分析

因子分析で抽出された 7 つの因子をもとに、クラスタ分析という手法を用いて、回答者をライフスタイル志向ごとに 5 つのクラスタ(グループ)に分類した。

表 5-2-1: 各グループ説明

グループ1	「先進・革新重視因子」のみ得点が高く、 <b>生活の変化や新しさを特に重視</b> する層と考えられる。一方で他の因子の得点は低いため、 <b>変化や新しさ以外にはこだわりが薄い</b> と推察される。各グループの中では最も回答者に占める割合が高い。
グループ2	「儉約・自然環境重視因子」のみ得点が高く、 <b>自然に触れることや環境を大切にすることを重視</b> する層と考えられる。その他の因子は得点が低いため、主にこの価値観からエコ行動にも取り組んでいると推察される。
グループ3	「健康・清潔重視因子」を除いたすべての因子の得点が高く、 <b>様々な物事に関心のある層</b> と考えられる。とりわけ「先進・革新重視因子」が高いことから、他に先駆けて新しいものを生活に取り入れていると推察される。
グループ4	「安定・プライベート重視因子」のみ得点が高く、 <b>生活の安定性や安心感、自分のスタイルを重視</b> する層と考えられる。一方で「自己実現重視因子」など他の因子の得点は低いことから、グループ3のように生活の充実のため様々なことに積極的に挑戦するというよりは、 <b>自分の居心地がよい空間や時間を守っている</b> と考えられる。
グループ5	全ての因子において得点が低く、 <b>今回調査したライフスタイルに関する項目についてはあまり関心を抱かない層</b> と考えられる。関心を探れなかったため、本調査では最もアプローチの困難な層と推察される。

## (3) クロス集計

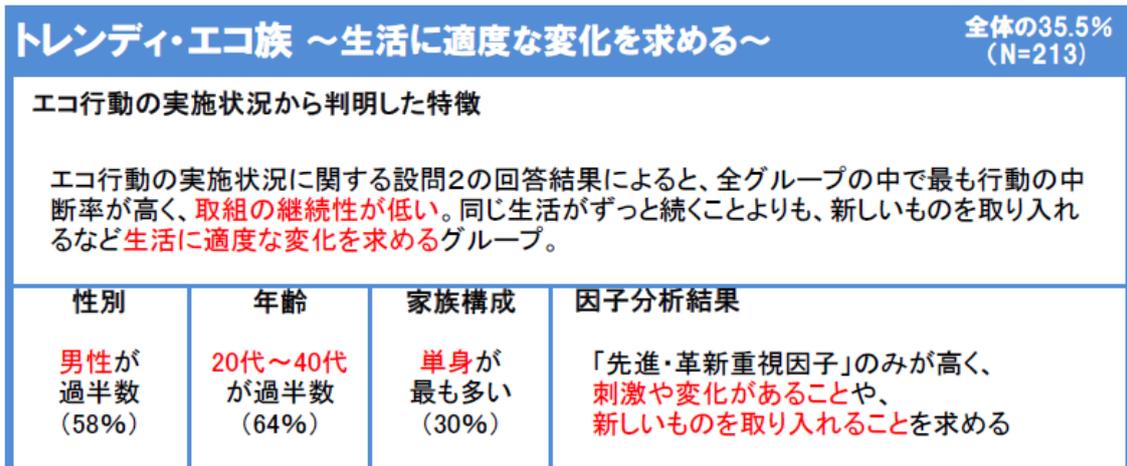
クラスタ分析で抽出された 5 つのグループと、設問2~4で質問した 10 のエコ行動の実施状況・中断理由・実施理由についての回答結果をクロス集計し、各グループのライフスタイル志向とエコ行動の関連性を調べるとともに、エコ行動に対する考え方を考察した。

考察結果については、次章で記述する。またクロス集計結果の詳細は、「8. 付録」に掲載する。

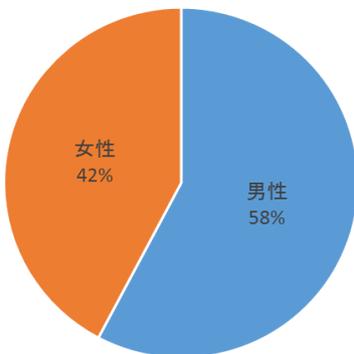
## 6. 考察①：各グループのエコ行動に対する考え方

分析結果をもとに、ライフスタイル志向によって分類したグループごとのエコ行動に対する考え方について考察した。以下、グループごとに説明する。

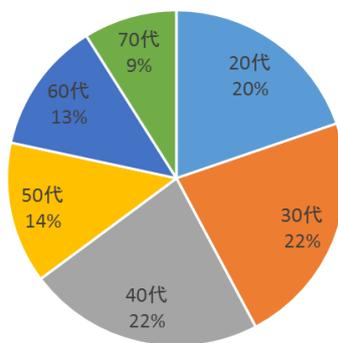
### (1) グループ1



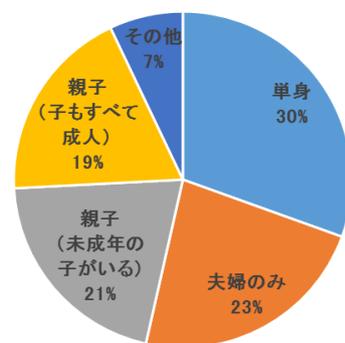
性別構成(図 6-1-1)



年代別構成(図 6-1-2)



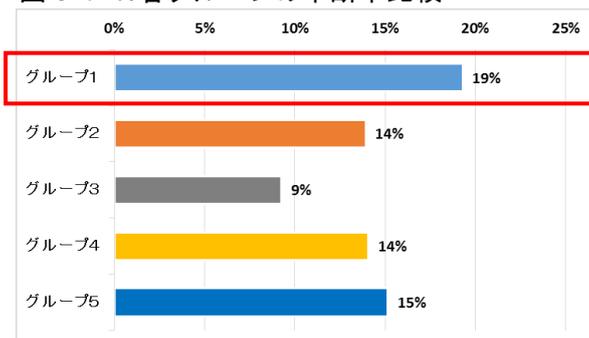
家族形態別構成(図 6-1-3)



### ✓ 全グループ中最も「中断率」が高く、行動の継続が苦手

エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果を見ると、グループ1は全グループの中で「**以前実施していた(が現在は実施していない)**」を選んだ割合が最も多い。

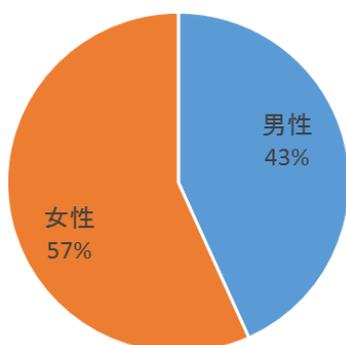
図 6-1-4: 各グループの中断率比較



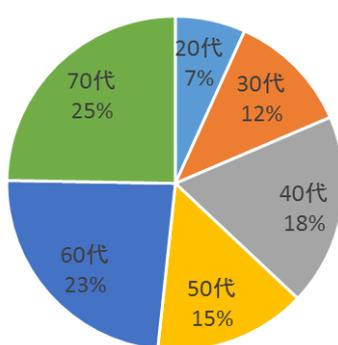
(2) グループ2

デイリー・エコ族 ～普段の生活でエコ行動を実践する～				全体の29.7% (N=178)
エコ行動の実施状況から判明した特徴				
エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果によると、 <b>日常の生活行動の中で取組める行動の実施率が高い</b> 。グループ3に次いでエコ意識が高く、普段の生活の中で <b>無理なくエコ行動に取組むグループ</b> 。				
性別	年齢	家族構成	因子分析結果	
女性が過半数 (57%)	60代～70代が多い (48%)	夫婦のみが最も多い (35%)	「 <b>儉約・自然環境重視因子</b> 」のみが高く、 <b>自然に触れることや、物を大切にすることを求める</b>	

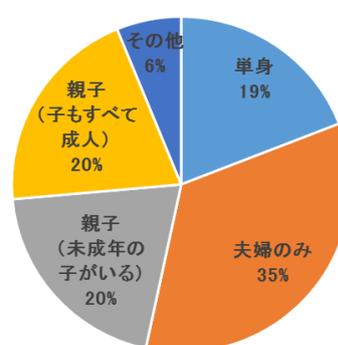
性別構成(図 6-2-1)



年代別構成(図 6-2-2)



家族形態別構成(図 6-2-3)



✓「**日常的なエコ行動**」は**確実に実行**

10のエコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果を見ると、グループ2は行動によって実施率に開きがあり、とりわけ照明や空調の使用など**日常の生活行動の中で取組めるエコ行動の実施率が比較的高い**結果となっている。

一方で下表の赤枠で囲んだエコ行動は、必ずしも日常の生活行動の中で取組めるものではないため、全体平均と同程度まで実施率が下がっている。ただし、こうした行動でも「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」を除いて全体平均よりはやや高い値を示している。

自分の日常生活で取組めるエコ行動への意識は高いが、**新しい行動や自分の日常生活を超えた取組はあまり実施していない**と考えられる。

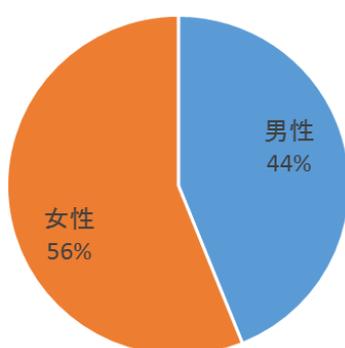
表 6-2-1: グループごとの実施率比較

10のエコ行動	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	全体平均
使用していない部屋の照明は消す	86%	97%	98%	92%	52%	89%
洗濯物はまとめて洗濯する	76%	82%	90%	75%	33%	76%
家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	54%	70%	80%	53%	21%	58%
夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	62%	74%	76%	63%	24%	64%
窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	31%	31%	41%	24%	24%	30%
庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	28%	33%	51%	16%	15%	28%
手作り弁当を持参する	32%	34%	41%	28%	15%	32%
フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	25%	16%	46%	24%	6%	23%
国産または地域産の食材を選択して購入する	48%	62%	73%	44%	6%	51%
近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	68%	77%	80%	68%	24%	69%

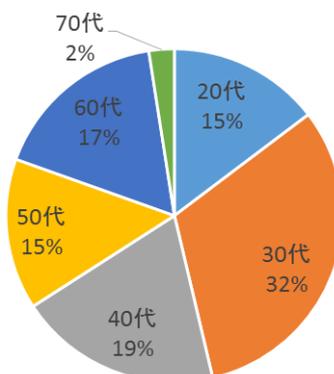
(3) グループ3

チャレンジ・エコ族 ～様々なエコ行動にチャレンジする～				全体の6.8% (N=41)
エコ行動の実施状況から判明した特徴				
エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果によると、 <b>全ての行動で実施率が最も高く、また中断率が最も低い</b> 。環境に配慮する意識も高く、 <b>様々な行動に積極的に取り組み、またそれを継続させているグループ</b> 。				
性別	年齢	家族構成	因子分析結果	
女性が過半数 (56%)	30代が最も多い (32%)	単身が最も多い (34%)	「健康・清潔重視因子」を除く全ての因子得点が高く、 <b>様々なことに関心が高い</b>	

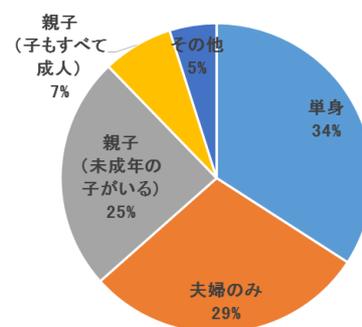
性別構成(図 6-3-1)



年代別構成(図 6-3-2)



家族形態別構成(図 6-3-3)



✓ 様々な行動にチャレンジし、かつ継続して取り組んでいる

エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果を見ると、グループ3は、グループ2で実施率が下がっていたエコ行動も含めて**全ての行動において実施率が全体平均を大きく上回っている**。(表 6-2-1 参照)

また中断率も全グループ中最も低く、**始めた行動は継続して取り組んでいる**ことが分かる。(図 6-1-4 参照)

✓ 様々な理由により行動しているから継続する

エコ行動の実施理由に関する設問4の回答結果を見ると、グループ3は、**1つのエコ行動に対し複数の実施理由を選択しており**、選択率も他のグループと比べて1番目または2番目に高くなっている。

**様々なメリットを感じ、あるいは多くの理由を持って行動に取り組んでいるため、行動が継続している**ことが考えられる。

- 他のグループの実施率が低いエコ行動も、グループ3の実施率は他のグループよりも10%程度高い

(再掲)表 6-2-1:グループごとの実施率比較

10のエコ行動	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	全体平均
使用していない部屋の照明は消す	86%	97%	98%	92%	52%	89%
洗濯物はまとめて洗濯する	76%	82%	90%	75%	33%	76%
家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	54%	70%	80%	53%	21%	58%
夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	62%	74%	76%	63%	24%	64%
窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	31%	31%	41%	24%	24%	30%
庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	28%	33%	51%	16%	15%	28%
手作り弁当を持参する	32%	34%	41%	28%	15%	32%
フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	25%	16%	46%	24%	6%	23%
国産または地域産の食材を選択して購入する	48%	62%	73%	44%	6%	51%
近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	68%	77%	80%	68%	24%	69%



- 上記エコ行動の実施理由の選択状況を見ると、グループ3は多くの理由で選択率が全グループ中1位または2位となっている(下表では例として「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」の実施理由の選択率を掲載する)

表 6-3-1:グループ3「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」実施理由

金銭の節約になるから	安価で物を入れるから	出入り得ることから	物を出さずに捨てるから	物を出さずに捨てるから	新しい物にすぐに買い替えるのは贅沢	自分で価格決定できるから	達成感があるから	物が売れたり、売り上げが上がると	共有できることが楽しいから	自身が大切にしたものを他者と合っているから	自分のこだわりやライフスタイルに	環境にやさしい暮らしができるから	家族で家族との時間を持つことができるから	家族で家族との時間を持つことができるから	利用者から評価されたり、出店者・周りにどう評価されたり、出店者・以前から習慣になっているから	あてはまるものがない
選択率	68%	63%	58%	58%	32%	37%	32%	32%	26%	26%	32%	32%	11%	5%	16%	5%

※黄色セルは全グループ中選択率が1番または2番の理由

(4) グループ4

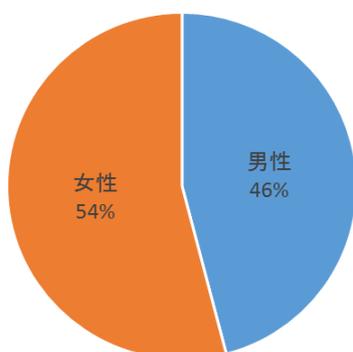
**マイペース・エコ族 ～生活の安定や充実を求める～** 全体の22.5%  
(N=135)

**エコ行動の中断理由から判明した特徴**

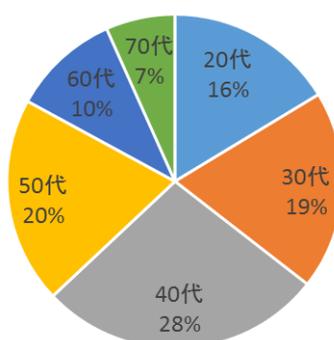
エコ行動の中断理由に関する設問3の回答結果によると、**生活空間の充実やライフスタイルにおいて無理をしないことを求める**傾向が見られる。生活に安定感を求め、自分なりの方法でプライベートを充実させたいグループ。

性別	年齢	家族構成	因子分析結果
女性が過半数 (54%)	40代が最も多い (28%)	単身が最も多い (28%)	「安定・プライベート重視因子」のみが高く、ゆとりある時間など <b>安定的な生活や、自分のプライベートを確保することを求める</b>

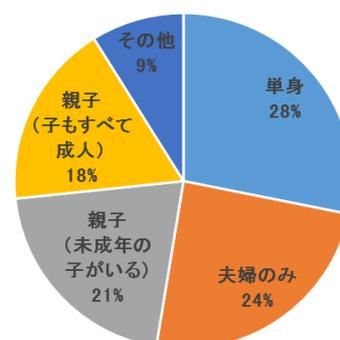
性別構成(図 6-4-1)



年代別構成(図 6-4-2)



家族形態別構成(図 6-4-3)



✓ **エコ行動においても安定性やプライベートの充実が大事**

エコ行動の中断理由に関する設問3の回答結果を見ると、グループ4は、自分のプライベート空間を大切に、**自分の好みに沿ったライフスタイルを守ろうとする**傾向が強く見られる。

また時間や金銭面、体力など様々な面で、**生活においては無理をしない**傾向も見られる。こうした点からも、ライフスタイルにおいてゆとりや安定性を重視していると考えられる。

① **生活空間の充実や自身の選択に沿った生活が大事**

- Q3-3「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える」で、「狭い空間で過ごしたり、一人で過ごす方がリラックスできるから」「自分の好みに合わせて室温を変更したり、テレビの番組などを選択したりすることができなかったから」の選択割合が他のグループと比べて高い(グループ3、5は選択総数が低いので比較から除外)

表 6-4-1: グループ別「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコ

ンやテレビの使用を控える」中断理由

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(24%・10名)	安定・プライベート
・面倒(22%・9名)	効率性
・節約実感なし(22%・9名)	安定・プライベート
・変化(在宅時間)(20%・8名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
7%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ5	
中断率(中断者数)	
15%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ2	
中断率(中断者数)	
13%(23名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(26%・6名)	安定・プライベート
・自分好みにできない(26%・6名)	安定・プライベート
・該当なし(26%・6名)	-
・変化(在宅時間)(17%・4名)	-
・面倒(13%・3名)	効率性
・環境実感なし(13%・3名)	儉約・自然環境

グループ4	
中断率(中断者数)	
11%(15名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(33%・5名)	安定・プライベート
・自分好みにできない(26%・6名)	安定・プライベート
・該当なし(27%・4名)	-
・面倒(20%・3名)	効率性
・変化(忙しさ)(20%・3名)	-
・家族評判悪い(20%・3名)	他人とのつながり

- Q3-4「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする」で、「室内の快適さの向上を感じなかったから」の選択割合が全グループ中最も高い

表 6-4-2: グループ別「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする」中断理由

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(32%・13名)	効率性
・快適実感なし(32%・13名)	安定・プライベート
・健康影響(22%・9名)	健康・清潔
・変化(忙しさ)(17%・7名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
15%(27名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(33%・9名)	-
・面倒(19%・5名)	効率性
・快適実感なし(19%・5名)	安定・プライベート
・環境実感なし(15%・4名)	儉約・自然環境
・省エネ機器導入(15%・4名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
12%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
15%(20名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・快適実感なし(65%・13名)	安定・プライベート
・節約実感なし(30%・6名)	安定・プライベート
・面倒(25%・5名)	効率性

グループ5	
中断率(中断者数)	
21%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約実感ない(57%・4名)	安定・プライベート
その他の理由、選択数3未満	

② 無理のないライフスタイルを重視

- Q3-7「手作り弁当を持参する」で、「生活が忙しくなり、弁当の作成や弁当箱の洗浄に手間や時間を掛けられなくなったから」の選択割合が全グループ中最も高い

表 6-4-3: グループ別「手作り弁当を持参する」中断理由

グループ1	
中断率(中断者数)	
25%(54名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(28%・15名)	-
・面倒(19%・10名)	効率性
・変化(忙しさ)(19%・10名)	-
・外出減少(17%・9名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
25%(44名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・外出減少(36%・16名)	-
・該当なし(30%・13名)	-
・変化(忙しさ)(14%・6名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
17%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・外出減少(71%・5名)	-
その他の理由、選択数3未満	

グループ4	
中断率(中断者数)	
25%(34名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(忙しさ)(32%・11名)	-
・外出減少(29%・10名)	-
・該当なし(26%・9名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
21%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(43%・3名)	-
その他の理由、選択数3未満	

- Q3-9「国産または地域産の食材を選択して購入する」も、「生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから」の選択割合が全グループ中最も高い

表 6-4-4: グループ別「国産または地域産の食材を選択して購入する」中断理由

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(27%・11名)	効率性
・該当なし(24%・10名)	-
・お金もったいない(15%・6名)	安定・プライベート

グループ2	
中断率(中断者数)	
13%(24名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(経済性)(38%・9名)	-
・面倒(29%・7名)	効率性
・お金もったいない(25%・6名)	安定・プライベート

グループ3	
中断率(中断者数)	
7%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
13%(18名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(経済性)(30%・7名)	-
・変化(忙しさ)(28%・5名)	-
・該当なし(22%・4名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
18%(6名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(50%・3名)	効率性
その他の理由、選択数3未満	

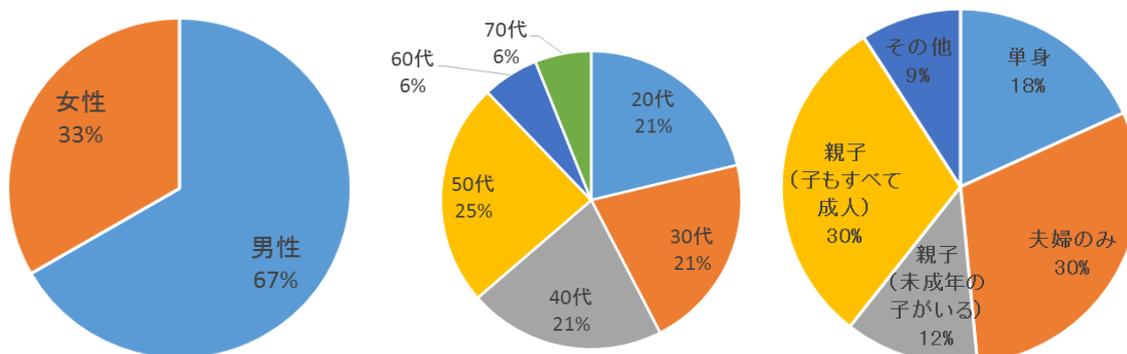
(5) グループ5

無関心・エコ族 ～関心がわからず、特色が見えない～				全体の5.5% (N=33)
エコ行動の実施状況から判明した特徴				
エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果によると、全ての行動で <b>実施率が最も低く</b> 、一つの行動を除いて <b>未実施率が最も高い</b> 。本調査では生活における関心が見つからなかったため、特色の見えないグループ。				
性別	年齢	家族構成	因子分析結果	
男性が過半数(67%)	60代、70代が少数(12%)	夫婦のみと親子(子も成人)が特に多い(31%・30%)	全ての因子得点が低く、本調査のライフスタイル項目では、 <b>生活の関心を探れなかった</b>	

性別構成(図 6-5-1)

年代別構成(図 6-5-2)

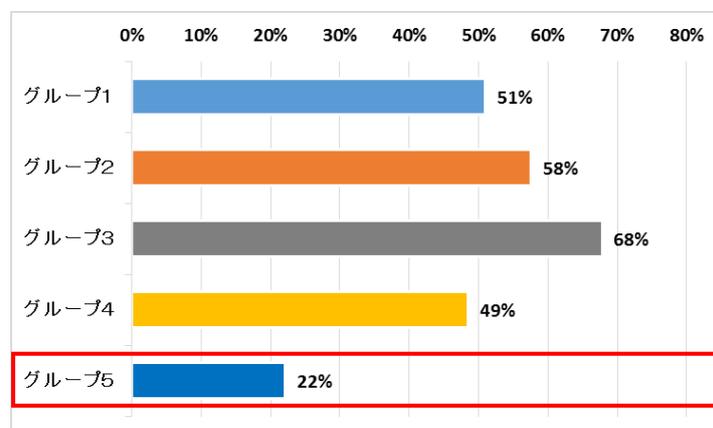
家族形態別構成(図 6-5-3)



全グループ中最も「実施率」が低く、エコ行動に対する考え方が見えにくい

エコ行動の実施状況に関する設問2の回答結果を見ると、グループ5は全グループの中で最も「実施している」を選んだ割合が少ない。

表 6-5-1: 全グループ実施率比較



## 7. 考察②：各グループへの普及啓発方法

今回の調査結果をもとに、ライフスタイル志向ごとにグループ分けし、エコ行動の実施状況と掛け合わせることで各グループのエコ行動に対する考え方を考察した。前章までの考察結果から、ライフスタイル志向とエコ行動の実施状況には一定の関連性があることが分かった。これは**エコ行動の継続や中断において、ライフスタイル志向が影響している**ことを示していると考ええる。

そのため、今後の普及啓発においては、都民に対し各々のライフスタイル志向に合ったエコ行動の実践を促し、その効果を実感してもらうことで、行動の継続を促進していくことが重要だと考察する。またそのような**行動実践を通して、ストレスを感じることなく、むしろ楽しさや生活の質の向上を感じながら環境に貢献することで、エコに対するポジティブな印象を根付かせることにもつながる**可能性がある。

以上を踏まえ、グループごとの普及啓発方法を以下のとおり考案した。

### (1) グループ1の普及啓発方法

「生活に適度な変化を求める」グループ1は、  
最新情報を楽しみながら生活に取り入れる

- ✓ 継続的な行動が苦手なグループ1に対しては、省エネ製品の購入など**一度実施すれば効果が継続するエコ行動を促進する**
- ✓ 「先進・革新重視因子」の得点が高く、**新しいものを積極的に取り入れることや、最新情報に触れることなどを重視する傾向がある**
- よって最新の省エネ家電など様々なエコ製品やサービスの情報を提供することで、そうした情報を楽しむこと、また気に入ったものは自分の生活に取り入れることを促進することが有効と考える

### (2) グループ2の普及啓発方法

「普段の生活でエコ行動を実践する」グループ2は、  
自然を通して環境への想いをより強く持つ

- ✓ 日常生活でエコ行動を実施しているグループ2は、引き続き現在実施しているエコ行動を続けつつ、**日常生活でできる他のエコ行動を促進する**
- ✓ 「儉約・自然環境重視因子」の得点が高く、環境を守ることだけでなく、**自然に触れて楽しむことや癒されることも求める傾向がある**

- よって日常生活でできる他のエコ行動を促進しつつ、日常生活を超えて取り組むこととして、自然に触れて楽しみや癒しを得られる活動への参加を啓発できるのではない。 またそれによってエコ意識をより高めることも考えられる



### (3) グループ3の普及啓発方法

「様々なエコ行動にチャレンジする」グループ3は、  
他のグループへ自身の経験を情報発信する

- ✓ 様々なエコ行動を継続的に実施しているグループ3は、自分の持っている情報や経験を他のグループへ伝えることで、発信者として普及啓発に関わる
- ✓ とりわけ「先進・革新重視因子」の得点が高いことから、最新情報に触れ、いち早くそれを生活に取り入れようとする傾向があり、また行動に実施にあたっては様々なメリットを意識している
- よって自分が持っている様々な情報や感じているメリットを発信することで、周囲のエコ行動を喚起する役割を担えると考える

(4) グループ4の普及啓発方法

「生活の安定や充実を求める」グループ4は、  
生活空間の充実につながる行動を実施する

- ✓ 生活の安定やプライベートの充実を求めるグループ4は、**自分の望む生活空間やプライベートの充実につながる行動**に取り組むことで、エコ行動の継続を促す
- ✓ 「安定・プライベート重視因子」の得点が高く、生活のゆとりやプライベートな時間や空間を守りながら、自身の選択で行動を実施する傾向がある
- よって住居の快適性向上など**自分のプライベートを充実させ、無理なく取り組めるエコ行動の実施**を啓発することが有効と考える

環境省が実施する COOL CHOICE キャンペーンでは、LED による快適空間の創出について情報発信している

**LIVING ROOM**  
リビングルーム

**POINT**  
フロアリングの床と書斎がシックなイメージで統一されている点もあり、天井のコーンライトだけでは部屋全体が暗い印象に

**before**

**after**

壁面に設置された、少し色も暖めた光源のよに柔らかな雰囲気のLED照明もプラス。天井をゆるやかに照らす間接照明に、LEDで操作でき、明るさは段階に調整可能

**DINING ROOM**  
ダイニングルーム

**POINT**  
色が自然に見える照明で食卓が暖やかに！

食卓には、食・照明の両方でおいしそりに見えるから、食事の楽しさもあがり、食卓の雰囲気が暖やかに

**before**

**after**

テーブルの上のペンダントライトを、暖かみのある電球型LEDに変更。以前は消費電力の多い白熱電球だったため、電気代も対半に。さらに電球色と暖かみのある色温度のLED電球を、暖かみのあるLEDのスポットライトをプラス。暖かみによる移居や勉強に適した空間に

**Experience Report**  
住まいのあかりリフォーム体験レポート

あかりを組み合わせ、楽しみたい！

体験レポート  
環境因子さん

ご主人と子供3人の共働きの子供2人家族。ご自宅は10年前で、アクリルが1階、暖房も暖かみがないので、冬は寒いと感じていました。冬は暖かい照明があるから、冬場は暖かい照明にしたいと思っていました。

**明るさを重視して暮らしやすい空間に**

あかりのリフォームに当たり、相談にのってくれたが団団法人環境学芸会 認定の環境コンサルタント、稲塚のうた、今回はビンググインツ、稲塚さんの提案、トイレのあかりをリフォームすることに。稲塚さんのご希望に沿って部屋全体の明るさを重視し、各部屋のあかりのリフォームプランを立てました。

「LED照明なら、音階や気分に合わせて部屋の雰囲気を立てることもできますね」と稲塚さん、夢が広がります。

出展：環境省『LED で快適あかり生活』より抜粋

(5) グループ5の普及啓発方法

「関心が分からず、特色が見えない」グループ5は、  
習慣化した行動について引き続き実施する

- ✓ 今回の調査項目からは関心の分からなかったグループ5も、一部実施している行動があったため、引き続き実施を促す
- ✓ 今回の調査では特定のライフスタイル志向を見つけられなかったが、**今回触れなかった視点で関心を持っている可能性**は考えられる
- グループ5については、今回調査しなかったライフスタイル項目やエコ行動を対象とするなど、さらに調査が必要と考える

## 8. 付録（その他の調査結果など）

### （1）調査項目の選定方法について

#### 設問1:ライフスタイル項目の選定

本調査では、都民が求めるライフスタイルを把握するため「34 のライフスタイル項目」を選定し、設問1にて 4 段階評価方式での項目ごとの評価を回答してもらうことで、各回答者のライフスタイル志向ごとにグループ分けを行った。ライフスタイル項目の選定にあたっては、『環境制約を考慮したライフスタイルの評価構造抽出と社会的受容性に関する分析』（瀧戸ほか 2010）の「ライフスタイル評価因子（40 項目）」を参考にした。

#### 設問2:10 のエコ行動の選定

10 のエコ行動を取上げるにあたっては、以下の2つの視点からタイプのことなる行動を選定した。

##### ① 環境行動類型

生活の中で取り組める主なエコ行動の類型として、「節電」「節水」「自然との触れ合い」「資源効率性」「CO2 排出抑制」の5つの類型を想定し、それぞれ行動を選定した。

##### ② 日常的行動および趣味的行動

家事や温度調節など日常の生活行動に付随して実施が可能な「日常的な行動」と、必ずしも日常生活で実施される行動ではない「趣味的な行動」をそれぞれ選定した。

10 のエコ行動を2つの視点でまとめると、以下のとおりとなる。

表 8-1-1:エコ行動分類

行動No.	環境行動類型	日常的/趣味的
①	節電	日常
②	節電・節水	日常
③	節電	日常
④	節電	日常
⑤	節電・自然	趣味
⑥	自然・資源	趣味
⑦	資源	趣味
⑧	資源	趣味
⑨	資源・排出	日常
⑩	排出	日常

### 設問3: 中断理由の選定

設問3では、設問2で「以前実施していた(が現在は実施していない)」を選択した行動について、中断した理由を選択肢の中から複数回答方式で選択してもらった。ここで選択肢として挙げた中断理由は、以下の中断要因分類に基づき選定した。

表 8-1-2: 中断要因分類

分類名	説明
コスト的要因	行動によって得られる便益よりも、行動によって受ける費用感の方が大きいことで行動中断を引き起こす要因を分類した。実際に手間が増えるなど損失を被ること以外にも、節約の効果を実感できないなど行動の動機を満たせないことが考えられる。
内的要因	生活者自身の性格や趣味・趣向など内面と合わないことで行動中断を引き起こす要因を分類した。好きになれない、飽きたといった理由のほかに、忙しくなったなどライフスタイルの変化も考えられる。
外的要因	生活者自身の内面には拠らず、もっぱら外部環境の変化によって行動中断を引き起こす要因を分類した。家計の経済状況の変化や、引越など生活環境の変化を主に挙げた。
社会規範	社会問題の解決など社会や生活者自身の規範性に基づく行動中断の要因を分類した。環境にやさしい暮らしをしたいが実感できない、などを挙げた。

また、以下に「近場の移動は徒歩や自転車で移動する」の中断理由を例示する。

表 8-1-3: 「近場の移動は徒歩や自転車で移動する」中断理由一覧

中断理由	中断要因分類	選択肢種別
始めてみたが、移動にかかる手間や時間をもったいないと感じたから	コスト(損失)	節約(手間)
節約効果を感じなかったから	コスト(効果実感無)	節約(金銭)
疲れるようになり、体力的に厳しいと感じたから	コスト(損失)	ゆとり(健康)
運動が好きになれなかったから	内的要因(性格)	自分(楽しさ)
自家用車に乗る時間を増やしたかったから	内的要因(性格)	自分(個性)
徒歩や自転車での移動に飽きたから	内的要因(性格)	自分(楽しさ)
生活が忙しくなり、手間や時間を掛けられなくなったから	内的要因	ライフスタイル
(温暖化対策につながるなど)環境にやさしい暮らしをしている実感を持てなかったから	社会規範	問題解決
(景気や所得などの影響で)自家用車の使用を控える必要性が下がったから	外的要因	経済性
病気や怪我などを患い、実施が困難になったから	外的要因	実施環境
家族で徒歩や自転車の移動が困難な者が出たから	外的要因	実施環境
家族が協力的でなかったり、家族と楽しむことができなかったから	コスト(効果実感無)	交流(家族・評価)
(ウォーキングやサイクリング仲間など)同じく行っている仲間が周囲にできなかったから	コスト(効果実感無)	交流(他人・評価)
あてはまるものがない		

#### 設問4:実施理由の選定

設問4では、設問2で「実施している」を選択した行動について、各行動を現在も実施している理由を選択肢の中から複数回答方式で選択してもらった。

ここで選択肢として挙げた実施理由については、中断理由とは異なり、便益要因・コスト要因を中心に取り上げた。

以下に「近場の移動は徒歩や自転車で移動する」の実施理由を例示する。

表 8-1-4:「近場の移動は徒歩や自転車で移動する」実施理由一覧

実施理由	行動意図	選択肢種別
交通費や車の維持費などを抑え、節約になるから	便益	節約(金銭)
体を動かすきっかけになり、健康につながるから	便益	ゆとり(健康)
ゆっくりとした時間が過ごせるから	便益	ゆとり(時間)
(車の維持・管理や駐車などを考えると)近場の移動ならその方が便利だから	便益	節約(手間・時間)
近距離の移動で車を使うのはもったいないと感じ、気になるから	コスト(損失)	節約(無駄)
目的地に着いた時達成感を感じられるから	便益	自分(目標)
自転車や徒歩での移動が楽しいから	便益	自分(楽しさ)
(気に入った道順があるなど)自分のこだわりやライフスタイルに合っているから	便益	自分(個性)
(温暖化対策につながるなど)環境にやさしい暮らしができるから	社会規範	問題解決
(運転するよりも会話しやすいなど)家族との時間を持てるから	便益	交流(家族)
周りから評価されたり、(ウォーキングやサイクリング仲間など)同じ取り組んでいる仲間ができるから	便益	交流(他人・評価)
以前から習慣になっているから	習慣	ゆとり(安定)
あてはまるものがない		

#### (2) 調査結果の分析方法 (詳細)

##### 因子分析

34のライフスタイル項目について、設問1の回答結果を元に、因子分析を実施した。因子分析は複数の観測変数(設問1の回答結果)を少数の潜在変数(因子)に要約してまとめることで、全体的な傾向をより容易に把握するための分析手法である。

なお、分析のステップとしては、以下のとおりである。

- ① 34のライフスタイル項目に対して、最尤法(さいゆうほう:手元にあるデータからみて、最もありえそうな因子モデルを推定する方法)による因子分析により、因子を抽出する。
- ② 抽出された因子の説明力を示す情報量である固有値の変化を見ると、5因子構造が妥当と判断されたが、5因子では解釈が困難であったため、7因子構造を仮定して再度因子分析を実施し、7つの因子を抽出した。

下記にライフスタイル項目と各因子との相関関係を示す因子負荷量を記載する。

表 8-2-1: 因子分析結果

	回転後の因子行列 <sup>a</sup>						
	因子						
	1	2	3	4	5	6	7
Q1_ゆとりある時間を過ごすこと	0.805	0.118	0.181	0.197	0.019	0.067	0.094
Q1_静かな環境で暮らすこと	0.750	0.012	0.203	0.111	0.054	0.020	-0.164
Q1_精神的に負担が少ないこと	0.720	0.082	0.097	0.187	0.153	0.031	0.134
Q1_一人の時間などプライベートが確保されていること	0.623	0.253	0.165	-0.063	0.120	0.086	0.133
Q1_人間関係や環境などに縛られず身軽であること	0.599	0.183	0.213	-0.018	0.335	0.102	0.103
Q1_生活リズムや環境の変化が少ない、安定的な暮らしであること	0.579	0.095	0.243	0.117	0.276	0.074	0.070
Q1_何でも自分で選択できること	0.482	0.366	0.196	-0.065	0.235	0.198	0.109
Q1_防犯・防災など安全面が確保されていること	0.472	0.070	0.289	0.277	-0.013	0.090	0.241
Q1_愛着が持てるものに囲まれていること	0.451	0.401	0.202	0.078	0.130	0.216	0.036
Q1_生活を楽しむこと	0.444	0.350	0.323	0.149	0.052	0.184	0.271
Q1_お金が掛らないこと	0.427	0.065	0.391	0.045	0.334	0.074	0.019
Q1_生活に自分なりのこだわりを持つこと	0.426	0.414	0.149	0.104	0.139	0.331	0.052
Q1_刺激や変化があること	0.019	0.786	0.148	0.186	0.051	0.084	0.050
Q1_新しいものを積極的に取り入れること	0.118	0.734	0.114	0.236	0.065	0.065	-0.023
Q1_贅沢感があること	0.195	0.548	0.004	0.112	0.132	0.026	0.084
Q1_自分が活躍できる機会があること	0.102	0.496	0.094	0.216	0.142	0.391	0.041
Q1_常日頃から社会の最新動向に触れていること	0.097	0.434	0.064	0.377	0.042	0.084	-0.002
Q1_周囲に良好な自然環境が保たれていること	0.322	0.171	0.759	0.157	0.052	0.043	0.041
Q1_自然に触れ、感じられる機会があること	0.240	0.205	0.703	0.170	0.026	0.068	-0.007
Q1_使い捨てを減らすなど物を大切にすること	0.179	0.040	0.599	0.296	0.234	0.103	0.073
Q1_食べ残しを減らすなど食べ物を大切にすること	0.272	0.062	0.585	0.221	0.237	0.153	0.175
Q1_地域や近所どうして助け合いがあること	0.015	0.041	0.238	0.709	0.050	0.046	-0.065
Q1_他人との交流や接触機会が多いこと	-0.020	0.280	0.146	0.707	-0.004	0.072	0.044
Q1_家族とのつながりが強いこと	0.181	0.066	0.243	0.528	-0.025	0.107	0.156
Q1_共通の趣味を分かち合える相手がいること	0.145	0.293	0.131	0.514	0.052	0.043	0.042
Q1_周囲の人々と同じように暮らすこと	0.079	0.154	0.015	0.440	0.308	0.019	0.016
Q1_他人から良い評価・評判を受けること	0.190	0.315	-0.014	0.426	0.180	0.132	0.132
Q1_生活に必要な労力を最小限に抑えること	0.452	0.200	0.138	0.080	0.602	-0.022	-0.011
Q1_「もったいない」と思うことを減らすこと	0.215	0.122	0.314	0.190	0.456	0.146	0.070
Q1_時間の使い方に無駄がないこと	0.348	0.346	0.152	0.115	0.405	0.153	0.014
Q1_自分を成長させられること	0.200	0.506	0.245	0.235	0.034	0.589	0.062
Q1_達成感が得られること	0.233	0.450	0.231	0.235	0.140	0.576	0.125
Q1_健康的であること	0.396	0.127	0.450	0.207	0.084	0.134	0.487
Q1_清潔であること	0.408	0.179	0.447	0.143	0.077	0.104	0.461

因子抽出法: 最尤法 回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

a. 9 回の反復で回転が収束しました。

	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	第1因子 安定・プライベート重視	第2因子 先進・革新重視	第3因子 儉約・自然環境重視	第4因子 他人とのつながり重視	第5因子 効率性重視	第6因子 自己実現重視	第7因子 健康・清潔重視

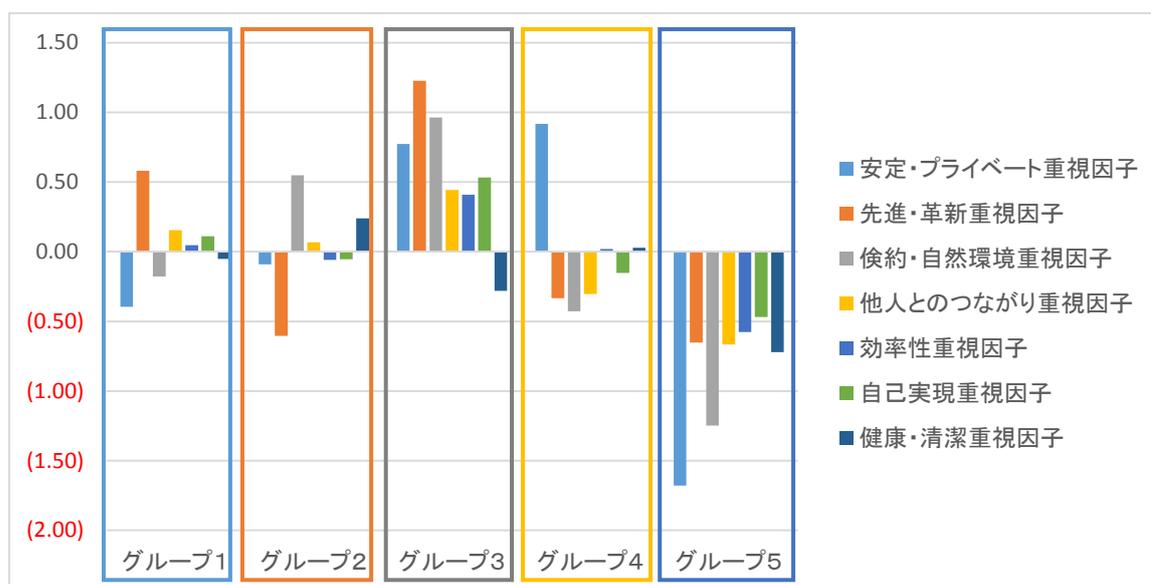
## クラスタ分析

因子分析で得られた7つの因子をもとにクラスタ分析を実施した。クラスタ分析は性別や年齢といった属性ではなく、回答者の意識や行動特性にもとづいてグループ分けを行うための分析手法である。本調査では、7つの因子(生活価値観)ごとに回答者の分類を試みた。その結果、以下の5つのグループを抽出した。

これらのグループの特徴を把握するために、7つの因子の因子得点の平均値をまとめたものを以下に示す。この因子得点の平均値は、各グループがそれぞれの因子をどの程度有しているかを表しており、プラスの値が大きいほどその因子を強く有しており、逆にマイナスの値が大きいほどその因子との関わりが薄いことを意味する。

図 8-3-1: 各グループと7因子の結びつきの強さ(因子得点)

	安定・プライベート 重視因子	先進・革新 重視因子	儉約・自然環境 重視因子	他人とのつながり 重視因子	効率性重視因子	自己実現 重視因子	健康・清潔 重視因子
グループ1	-0.39541	0.57952	-0.17842	0.15482	0.04758	0.11119	-0.05220
グループ2	-0.08979	-0.60312	0.54780	0.06650	-0.05954	-0.05370	0.23936
グループ3	0.77375	1.22689	0.96325	0.44242	0.40938	0.53275	-0.28058
グループ4	0.91757	-0.33234	-0.42834	-0.30339	0.01979	-0.15193	0.02794
グループ5	-1.67851	-0.65209	-1.24767	-0.66654	-0.57551	-0.46841	-0.71987

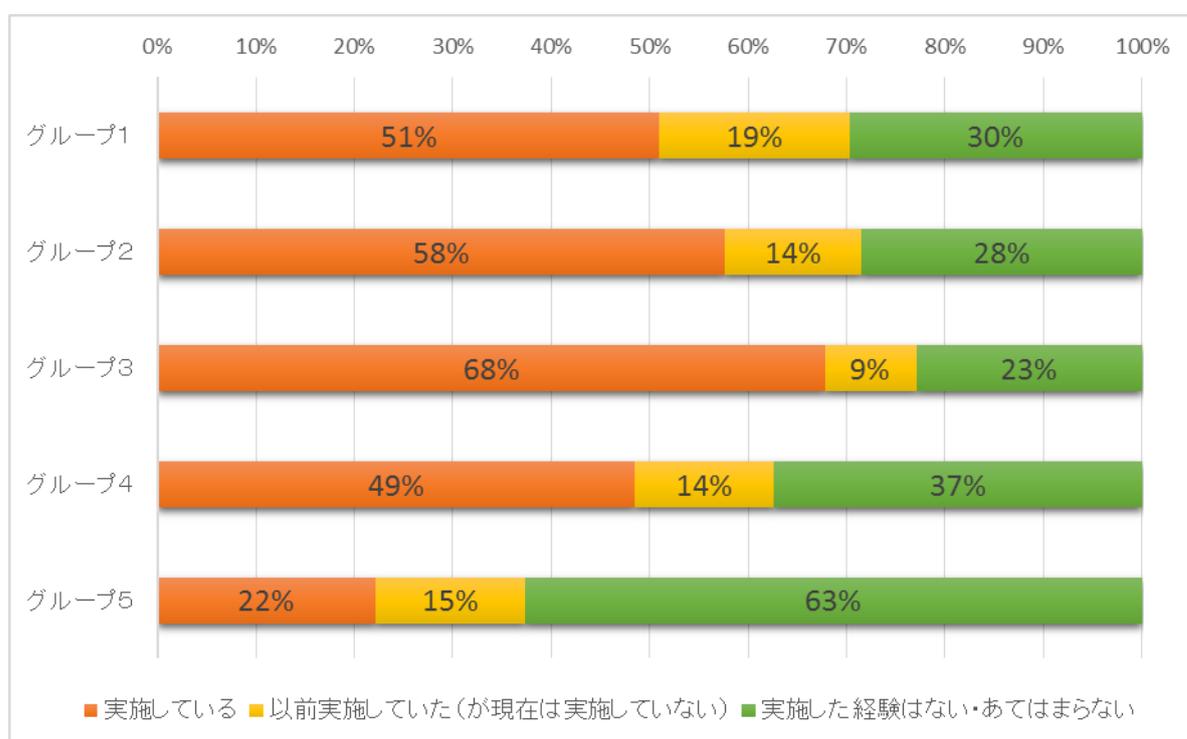


### (3) クロス集計結果

#### グループ×実施状況(設問2)

10のエコ行動について、グループごとの実施率(「実施している」の割合)・中断率(「以前実施していた(が現在は実施していない)」の割合)・未実施率(「実施した経験はない・あてはまらない」の割合)は以下のとおりとなった。取り上げた行動全体における実施率を見ると、グループ3が最も高く、次いでグループ2の実施率が高い。一方で未実施率は、グループ5が飛びぬけて高い結果となった。また中断率は僅差であるが、グループ1が最も高い結果となった。

図 8-3-2: 各グループのエコ行動の実施状況



続いて各グループの行動ごとの実施率・中断率・未実施率について、各行動の特性も交えながら結果を参照する。

#### ① グループの行動ごとの実施率

日常的な節電行動や排出削減行動は、グループ5を除いた他のグループで比較的实施率が高い結果となった。一方で、趣味的な行動はグループ3を除き比較的实施率が低い。

また日常的な節電行動の中でも「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える」については、グループ1、4では若干実施率が低い。

表 8-3-1:各グループの実施率比較

10のエコ行動	日常/趣味	行動類型	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
使用していない部屋の照明は消す	日常	節電	86%	97%	98%	92%	52%
洗濯物はまとめて洗濯する	日常	節電・節水	76%	82%	90%	75%	33%
家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	日常	節電	54%	70%	80%	53%	21%
夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	日常	節電	62%	74%	76%	63%	24%
窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	趣味	節電・自然	31%	31%	41%	24%	24%
庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	趣味	自然・資源	28%	33%	51%	16%	15%
手作り弁当を持参する	趣味	資源	32%	34%	41%	28%	15%
フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	趣味	資源	25%	16%	46%	24%	6%
国産または地域産の食材を選択して購入する	日常	資源・排出	48%	62%	73%	44%	6%
近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	日常	排出	68%	77%	80%	68%	24%

## ② グループの行動ごとの中断率

グループ1は、「使用していない部屋の照明は消す」「洗濯物はまとめて洗濯する」以外の行動で中断率 20%程度と比較的高い。またグループ5は中断率にバラつきがあるが、これは未実施率が高い行動があるために生じている。

また「手作り弁当を持参する」は、すべてのグループで比較的高い中断率となっている。中断率の高い行動は、趣味的な行動に集まっている傾向が見られる。

表 8-3-2:各グループの中断率比較

10のエコ行動	日常/趣味	行動類型	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
使用していない部屋の照明は消す	日常	節電	11%	3%	2%	7%	9%
洗濯物はまとめて洗濯する	日常	節電・節水	15%	10%	7%	10%	24%
家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	日常	節電	19%	13%	7%	11%	15%
夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	日常	節電	19%	15%	12%	15%	21%
窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	趣味	節電・自然	19%	18%	10%	10%	12%
庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	趣味	自然・資源	20%	19%	12%	20%	3%
手作り弁当を持参する	趣味	資源	25%	25%	17%	25%	21%
フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	趣味	資源	24%	14%	12%	16%	12%
国産または地域産の食材を選択して購入する	日常	資源・排出	19%	13%	7%	13%	18%
近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	日常	排出	20%	10%	5%	15%	15%

## ③ グループの行動ごとの未実施率

グループ5は、「使用していない部屋の照明は消す」「洗濯物はまとめて洗濯する」以外の行動で未実施率 55%以上と高くなっている。またグループ4では、趣味的な行動の未実施率が比

較的高い。

行動ごとに見ると、「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」で、グループ2、4、5の未実施率が高く、先進・革新重視因子を持つグループ1、3では実施経験のある回答者が比較的多いことが分かる(ただし、グループ1は実施経験者の約半数が中断している)。

表 8-3-3: 各グループの未実施率比較

10のエコ行動	日常/趣味	行動類型	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
使用していない部屋の照明は消す	日常	節電	3%	1%	0%	1%	39%
洗濯物はまとめて洗濯する	日常	節電・節水	8%	8%	2%	16%	42%
家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	日常	節電	27%	17%	12%	36%	64%
夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	日常	節電	19%	11%	12%	22%	55%
窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	趣味	節電・自然	50%	51%	49%	67%	64%
庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	趣味	自然・資源	52%	48%	37%	64%	82%
手作り弁当を持参する	趣味	資源	42%	42%	41%	47%	64%
フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	趣味	資源	50%	70%	41%	61%	82%
国産または地域産の食材を選択して購入する	日常	資源・排出	32%	24%	20%	43%	76%
近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	日常	排出	13%	13%	15%	17%	61%

### グループ×中断理由(設問3)

各グループの中断理由(設問3の回答結果)について、10のエコ行動ごとにその結果を参照する。

なお下図では各グループの行動ごとの中断理由のうち、上位3つまで(選択数と同じ理由は同列順位と扱い第3位まで)を記載した。また統計的な信頼性の観点から、選択数が3未満のものは除外している。

表 8-3-4: 各グループの中断理由

#### ① 使用していない部屋の照明は消す

グループ1		グループ2	
中断率(中断者数)		中断率(中断者数)	
11%(24名)		3%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子	中断理由(選択率・選択数)	関連因子
1位 面倒(33%・8名)	効率性	・節約実感なし(60%・3名)	安定・プライベート
2位 節約実感なし(25%・6名)	安定・プライベート	その他の理由、選択数3未満	
3位 変化(忙しさ)(21%・5名)	-		

グループ3	
中断率(中断者数)	
2%(1名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
7%(9名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(44%・4名)	効率性
・防犯上(44%・4名)	安定・プライベート
・変化(忙しさ)(44%・4名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
9%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

② 洗濯物はまとめて洗濯する

グループ1	
中断率(中断者数)	
15%(33名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・不衛生(24%・8名)	健康・清潔
・汚れ落ちにくい(21%・7名)	効率性
・面倒(18%・6名)	効率性
・節約実感なし(18%・6名)	安定・プライベート
・洗濯増加(18%・6名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
10%(17名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・不衛生(53%・9名)	健康・清潔
・洗濯増加(35%・6名)	-
・汚れ落ちにくい(24%・4名)	効率性
・服不足(24%・4名)	安定・プライベート

グループ3	
中断率(中断者数)	
7%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
10%(13名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(46%・6名)	効率性
・不衛生(38%・5名)	健康・清潔
・服不足(38%・5名)	安定・プライベート
・自分で洗濯しない(31%・4名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
24%(8名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約実感なし(38%・3名)	安定・プライベート
・該当なし(38%・3名)	-
その他の理由、選択数3未満	

③ 家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(24%・10名)	安定・プライベート
・面倒(22%・9名)	効率性
・節約実感なし(22%・9名)	安定・プライベート
・変化(在宅時間)(20%・8名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
13%(23名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(26%・6名)	安定・プライベート
・自分好みにできない(26%・6名)	安定・プライベート
・該当なし(26%・6名)	-
・変化(在宅時間)(17%・4名)	-
・面倒(13%・3名)	効率性
・環境実感なし(13%・3名)	節約・自然環境

グループ3	
中断率(中断者数)	
7%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
11%(15名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・一人で過ごす(33%・5名)	安定・プライベート
・自分好みにできない(26%・6名)	安定・プライベート
・該当なし(27%・4名)	-
・面倒(20%・3名)	効率性
・変化(忙しさ)(20%・3名)	-
・家族評判悪い(20%・3名)	他人とのつながり

グループ5	
中断率(中断者数)	
15%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

④ 夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(32%・13名)	効率性
・快適実感なし(32%・13名)	安定・プライベート
・健康影響(22%・9名)	健康・清潔
・変化(忙しさ)(17%・7名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
15%(27名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(33%・9名)	-
・面倒(19%・5名)	効率性
・快適実感なし(19%・5名)	安定・プライベート
・環境実感なし(15%・4名)	節約・自然環境
・省エネ機器導入(15%・4名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
12%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
15%(20名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・快適実感なし(65%・13名)	安定・プライベート
・節約実感なし(30%・6名)	安定・プライベート
・面倒(25%・5名)	効率性

グループ5	
中断率(中断者数)	
21%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約実感ない(57%・4名)	安定・プライベート
その他の理由、選択数3未満	

⑤ 窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(40名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(28%・11名)	効率性
・該当なし(25%・10名)	-
・イメージ通りでない(20%・8名)	安定・プライベート

グループ2	
中断率(中断者数)	
18%(32名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(44%・14名)	効率性
・快適実感ない(25%・8名)	安定・プライベート
・虫発生(25%・8名)	-
・イメージ通りでない(19%・6名)	安定・プライベート
・該当なし(19%・6名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
10%(4名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
10%(13名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(38%・5名)	効率性
・該当なし(31%・4名)	-
・快適実感ない(23%・3名)	安定・プライベート
・イメージ通りでない(23%・3名)	安定・プライベート

グループ5	
中断率(中断者数)	
12%(4名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑥ 庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う

グループ1	
中断率(中断者数)	
20%(43名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(35%・15名)	効率性
・イメージ通りでない(33%・14名)	安定・プライベート
・変化(忙しさ)(21%・9名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
19%(33名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(39%・13名)	効率性
・虫発生(33%・11名)	-
・イメージ通りでない(27%・9名)	安定・プライベート

グループ3	
中断率(中断者数)	
12%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(80%・4名)	効率性
その他の理由、選択数3未満	

グループ4	
中断率(中断者数)	
20%(27名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(56%・15名)	効率性
・虫発生(56%・15名)	-
・イメージ通りでない(37%・10名)	安定・プライベート
・変化(忙しさ)(37%・10名)	-
・該当なし(11%・3名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
3%(1名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑦ 手作り弁当を持参する

グループ1	
中断率(中断者数)	
25%(54名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(28%・15名)	-
・面倒(19%・10名)	効率性
・変化(忙しさ)(19%・10名)	-
・外出減少(17%・9名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
25%(44名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・外出減少(36%・16名)	-
・該当なし(30%・13名)	-
・変化(忙しさ)(14%・6名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
17%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・外出減少(71%・5名)	-
その他の理由、選択数3未満	

グループ4	
中断率(中断者数)	
25%(34名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(忙しさ)(32%・11名)	-
・外出減少(29%・10名)	-
・該当なし(26%・9名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
21%(7名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・該当なし(43%・3名)	-
その他の理由、選択数3未満	

⑧ フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を買ったり売ったりする

グループ1	
中断率(中断者数)	
24%(52名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(25%・13名)	効率性
・変化(忙しさ)(25%・13名)	-
・該当なし(17%・9名)	-
・信頼性疑問(15%・8名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
14%(25名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(32%・8名)	効率性
・変化(忙しさ)(28%・7名)	
・欲しいものない(20%・5名)	

グループ3	
中断率(中断者数)	
12%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
16%(21名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(38%・8名)	効率性
・節約実感なし(33%・7名)	安定・プライベート
・該当なし(33%・7名)	-
・収入に不満(14%・3名)	自己実現
・欲しいものない(14%・3名)	-
・変化(忙しさ)(14%・3名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
12%(4名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑨ 国産または地域産の食材を選択して購入する

グループ1	
中断率(中断者数)	
19%(41名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(27%・11名)	効率性
・該当なし(24%・10名)	-
・お金もつたない(15%・6名)	安定・プライベート

グループ2	
中断率(中断者数)	
13%(24名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(経済性)(38%・9名)	-
・面倒(29%・7名)	効率性
・お金もつたない(25%・6名)	安定・プライベート

グループ3	
中断率(中断者数)	
7%(3名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
13%(18名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・変化(経済性)(39%・7名)	-
・変化(忙しさ)(28%・5名)	-
・該当なし(22%・4名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
18%(6名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(50%・3名)	効率性
その他の理由、選択数3未満	

⑩ 近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する

グループ1	
中断率(中断者数)	
20%(42名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・面倒(24%・10名)	効率性
・体力厳しい(24%・10名)	安定・プライベート
・節約実感なし(19%・8名)	安定・プライベート
・楽しくない(19%・8名)	-
・該当なし(19%・8名)	-
・運動好きじゃない(17%・7名)	-

グループ2	
中断率(中断者数)	
10%(18名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・体力厳しい(28%・5名)	安定・プライベート
・実施困難(病気等)(28%・5名)	-
・変化(忙しさ)(22%・4名)	-
・該当なし(22%・4名)	-

グループ3	
中断率(中断者数)	
5%(2名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ4	
中断率(中断者数)	
15%(20名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
・体力厳しい(40%・8名)	安定・プライベート
・該当なし(40%・8名)	-
・面倒(15%・3名)	効率性
・楽しくない(15%・3名)	-
・変化(忙しさ)(15%・3名)	-

グループ5	
中断率(中断者数)	
15%(5名)	
中断理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

グループ×実施理由(設問4)

各グループの実施理由(設問4の回答結果)について、10のエコ行動ごとにその結果を参照する。

なお下図では各グループの行動ごとの実施理由のうち、上位3つまで(選択数と同じ理由は同列順位と扱い第3位まで)を記載した。また統計的な信頼性の観点から、選択数が3未満のものは除外している。

表 8-3-4:各グループの中断理由

① 使用していない部屋の照明は消す

グループ1	
実施率(実施者数)	
86%(183名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・もったいない(64%・118名)	効率性
・節約(60%・109名)	安定・プライベート
・習慣(37%・67名)	安定・プライベート

グループ2	
実施率(実施者数)	
97%(172名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・もったいない(87%・149名)	効率性
・節約(72%・124名)	安定・プライベート
・習慣(59%・102名)	安定・プライベート

グループ3	
実施率(実施者数)	
98%(40名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(75%・30名)	安定・プライベート
・もったいない(70%・28名)	効率性
・習慣(48%・19名)	安定・プライベート

グループ4	
実施率(実施者数)	
92%(124名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・もったいない(74%・92名)	効率性
・節約(65%・81名)	安定・プライベート
・習慣(44%・55名)	安定・プライベート

グループ5	
実施率(実施者数)	
52%(17名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・もったいない(41%・7名)	効率性
・該当なし(35%・6名)	-
・節約(24%・4名)	安定・プライベート

② 洗濯物はまとめて洗濯する

グループ1	
実施率(実施者数)	
76%(162名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・手間減(61%・99名)	効率性
・節約(52%・85名)	安定・プライベート
・清潔保持(31%・51名)	健康・清潔
・もったいない(31%・51名)	効率性

グループ2	
実施率(実施者数)	
82%(146名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・手間減(73%・107名)	効率性
・節約(56%・82名)	安定・プライベート
・習慣(45%・65名)	安定・プライベート

グループ3	
実施率(実施者数)	
90%(37名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(73%・27名)	安定・プライベート
・手間減(62%・23名)	効率性
・もったいない(51%・19名)	効率性

グループ4	
実施率(実施者数)	
75%(101名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・手間減(70%・71名)	効率性
・節約(50%・50名)	安定・プライベート
・もったいない(42%・42名)	効率性

グループ5	
実施率(実施者数)	
33%(11名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(27%・3名)	安定・プライベート
・習慣(27%・3名)	安定・プライベート
・該当なし(27%・3名)	-

③ 家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える

グループ1	
実施率(実施者数)	
54%(115名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(57%・66名)	安定・プライベート
・落ち着く(45%・52名)	安定・プライベート
・もったいない(41%・47名)	効率性

グループ2	
実施率(実施者数)	
70%(124名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(64%・79名)	安定・プライベート
・落ち着く(48%・59名)	安定・プライベート
・習慣(47%・58名)	安定・プライベート

グループ3	
実施率(実施者数)	
80%(33名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(67%・22名)	安定・プライベート
・もったいない(55%・18名)	効率性
・落ち着く(39%・13名)	安定・プライベート
・習慣(39%・13名)	安定・プライベート

グループ5	
実施率(実施者数)	
21%(7名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・もったいない(43%・3名)	効率性
・習慣(43%・3名)	安定・プライベート
その他の理由、選択数3未満	

グループ4	
実施率(実施者数)	
53%(71名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(56%・40名)	安定・プライベート
・落ち着く(39%・28名)	安定・プライベート
・もったいない(35%・25名)	効率性

④ 夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする

グループ1	
実施率(実施者数)	
62%(131名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(63%・82名)	安定・プライベート
・快適保持(45%・59名)	安定・プライベート
・もったいない(34%・45名)	効率性

グループ2	
実施率(実施者数)	
74%(131名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(64%・84名)	安定・プライベート
・快適保持(51%・67名)	安定・プライベート
・もったいない(50%・65名)	効率性

グループ3	
実施率(実施者数)	
76%(31名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(81%・25名)	安定・プライベート
・健康的(61%・19名)	健康・清潔
・もったいない(55%・17名)	効率性

グループ4	
実施率(実施者数)	
63%(85名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(72%・61名)	安定・プライベート
・快適保持(44%・37名)	安定・プライベート
・もったいない(42%・36名)	効率性

グループ5	
実施率(実施者数)	
24%(8名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・習慣(38%・3名)	安定・プライベート
その他の理由、選択数3未満	

⑤ 窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する

グループ1	
実施率(実施者数)	
31%(66名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(47%・31名)	安定・プライベート
・快適実感(36%・24名)	安定・プライベート
・以前から設置(32%・21名)	安定・プライベート

グループ2	
実施率(実施者数)	
31%(56名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・快適実感(57%・32名)	安定・プライベート
・節約(50%・28名)	安定・プライベート
・自然に触れる(38%・21名)	儉約・自然

グループ3	
実施率(実施者数)	
41%(17名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(71%・12名)	安定・プライベート
・快適実感(47%・8名)	安定・プライベート
・自然に触れる(41%・7名)	儉約・自然

グループ4	
実施率(実施者数)	
24%(32名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(75%・24名)	安定・プライベート
・快適実感(59%・19名)	安定・プライベート
・以前から設置(34%・11名)	安定・プライベート

グループ5	
実施率(実施者数)	
24%(8名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑥ 庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う

グループ1	
実施率(実施者数)	
28%(59名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・自然に触れる(53%・31名)	儉約・自然
・以前から実施(36%・21名)	安定・プライベート
・達成感(31%・18名)	自己実現

グループ2	
実施率(実施者数)	
33%(59名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・自然に触れる(64%・38名)	儉約・自然
・作業など楽しめる(42%・25名)	安定・プライベート
・以前から実施(42%・25名)	安定・プライベート
・健康につながる(39%・23名)	健康・清潔

グループ3	
実施率(実施者数)	
51%(21名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・自然に触れる(81%・17名)	儉約・自然
・作業など楽しめる(43%・9名)	安定・プライベート
・ライフスタイル合う(43%・9名)	安定・プライベート
・環境配慮な暮らし(43%・9名)	儉約・自然
・贅沢感(38%・8名)	先進・革新

グループ4	
実施率(実施者数)	
16%(21名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・自然に触れる(52%・11名)	儉約・自然
・作業など楽しめる(24%・5名)	安定・プライベート
・以前から実施(24%・5名)	安定・プライベート
・健康につながる(19%・4名)	健康・清潔

グループ5	
実施率(実施者数)	
15%(5名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・健康につながる(60%・3名)	健康・清潔
その他の理由、選択数3未満	

⑦ 手作り弁当を持参する

グループ1	
実施率(実施者数)	
32%(69名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(62%・43名)	安定・プライベート
・健康につながる(41%・28名)	健康・清潔
・手間減(39%・27名)	効率性

グループ2	
実施率(実施者数)	
34%(60名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(80%・48名)	安定・プライベート
・手間減(52%・31名)	効率性
・健康につながる(47%・28名)	健康・清潔

グループ3	
実施率(実施者数)	
41%(17名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(76%・13名)	安定・プライベート
・手間減(59%・10名)	効率性
・健康につながる(47%・8名)	健康・清潔

グループ4	
実施率(実施者数)	
28%(38名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(84%・32名)	安定・プライベート
・手間減(63%・24名)	効率性
・健康につながる(39%・15名)	健康・清潔

グループ5	
実施率(実施者数)	
15%(5名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑧ フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする

グループ1	
実施率(実施者数)	
25%(54名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(56%・30名)	安定・プライベート
・もったいない(35%・19名)	効率性
・収入得られる(30%・16名)	自己実現

グループ2	
実施率(実施者数)	
16%(29名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(62%・18名)	安定・プライベート
・もったいない(48%・14名)	効率性
・達成感(31%・9名)	自己実現

グループ3	
実施率(実施者数)	
46%(19名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(68%・13名)	安定・プライベート
・収入得られる(63%・12名)	自己実現
・もったいない(58%・11名)	効率性

グループ4	
実施率(実施者数)	
24%(32名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(69%・22名)	安定・プライベート
・もったいない(47%・15名)	効率性
・収入得られる(34%・11名)	自己実現

グループ5	
実施率(実施者数)	
6%(2名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑨ 国産または地域産の食材を選択して購入する

グループ1	
実施率(実施者数)	
48%(103名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・安心だから(74%・76名)	安定・プライベート
・農家応援(36%・37名)	他人とのつながり
・以前から購入(27%・28名)	安定・プライベート

グループ2	
実施率(実施者数)	
62%(111名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・安心だから(86%・96名)	安定・プライベート
・農家応援(40%・44名)	他人とのつながり
・以前から購入(38%・42名)	安定・プライベート

グループ3	
実施率(実施者数)	
73%(30名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・安心だから(83%・25名)	安定・プライベート
・満足感(37%・11名)	先進・革新
・農家応援(33%・10名)	他人とのつながり
・以前から購入(33%・10名)	安定・プライベート

グループ4	
実施率(実施者数)	
44%(59名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・安心だから(88%・52名)	安定・プライベート
・農家応援(19%・11名)	他人とのつながり
・以前から購入(19%・11名)	安定・プライベート
・お気に入り(14%・8名)	安定・プライベート

グループ5	
実施率(実施者数)	
6%(2名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
選択数3以上の理由なし	

⑩ 近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する

グループ1	
実施率(実施者数)	
68%(144名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・その方が便利(54%・78名)	効率性
・健康につながる(53%・76名)	健康・清潔
・節約(43%・62名)	安定・プライベート

グループ2	
実施率(実施者数)	
77%(137名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・その方が便利(72%・98名)	効率性
・健康につながる(69%・95名)	健康・清潔
・節約(47%・65名)	安定・プライベート

グループ3	
実施率(実施者数)	
80%(33名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(67%・22名)	安定・プライベート
・健康につながる(61%・20名)	健康・清潔
・その方が便利(58%・19名)	効率性

グループ4	
実施率(実施者数)	
68%(92名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・節約(51%・47名)	安定・プライベート
・その方が便利(51%・47名)	効率性
・健康につながる(48%・44名)	健康・清潔
・習慣(25%・23名)	安定・プライベート

グループ5	
実施率(実施者数)	
24%(8名)	
実施理由(選択率・選択数)	関連因子
・健康につながる(50%・4名)	健康・清潔
選択数3以上の理由なし	

### グループ×情報接触度(設問5、6-1、6-2)

本調査では、生活における価値観やエコ行動の実施状況に加えて、情報接触度の調査も実施した。設問5で情報一般の入手方法を調査し、設問6-1ではエコ行動に関する情報に接触する頻度について、また設問6-2ではエコ行動に関する情報の入手方法について調査した。設問6-2は、設問6-1でエコ行動に関する情報に「頻繁に触れる」または「時々触れる」と回答した者だけを対象とした。

情報一般の入手方法とエコ行動に関する情報の入手方法を比較すると、各情報源の利用率の高低はほぼ一致しており、「テレビ」や「新聞」「インターネット検索サイト」が比較的高く、「パンフレット/チラシ」が比較的低い。

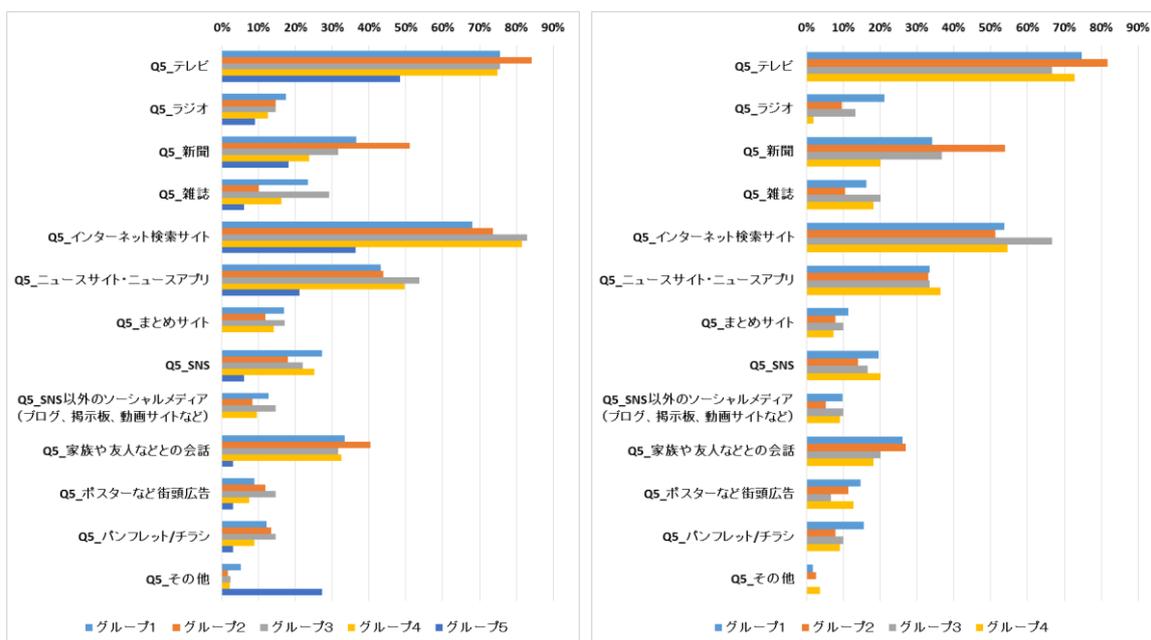
様々な環境イベントでエコ行動を啓発するためのパンフレットやチラシが配布されているが、今回の結果ではエコ行動に関する情報の情報源としてもあまり認識されていないという結果となった。

今後各グループごとに日頃接する媒体(視聴しているテレビ番組や閲覧しているサイトなど)や生活の場(職場、学校、趣味の集まりなど)などをより詳細に把握することで、ライフスタイル志向に合った情報伝達の方法を明らかにできる可能性がある。

図 8-3-3: 各グループごとの情報入手方法比較

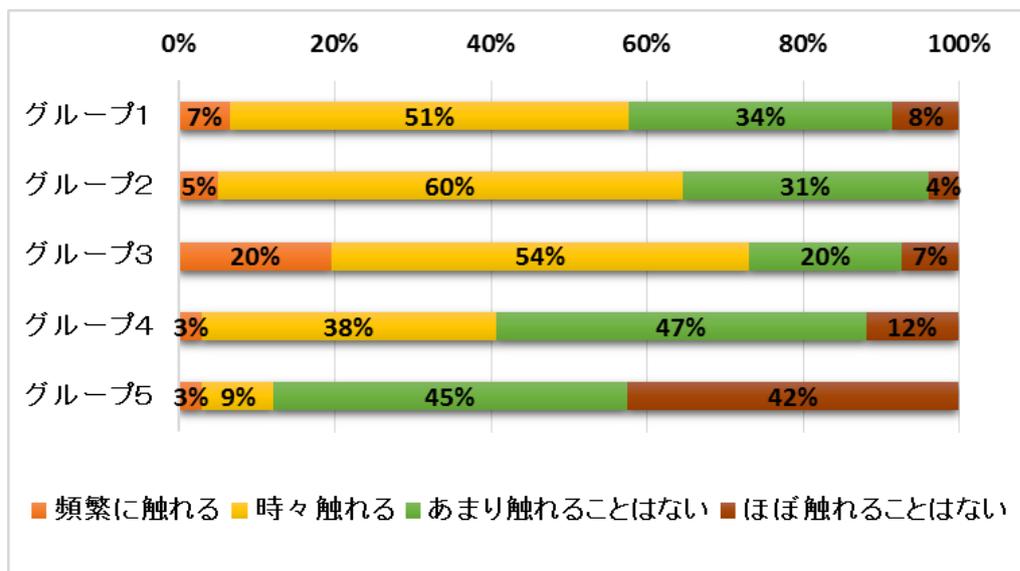
情報一般の入手方法(設問5回答結果)

エコ行動に関する情報の入手方法(設問6-2回答結果)



※ エコ行動に関する情報結果では、グループ5のサンプル数が4と少数であったため、グラフから除外した

図 8-3-4:設問6-1の回答結果



## 9. 調査票

**Q1-1 必須** 以下の生活に関する各項目について、あなたがライフスタイルや日常生活の中で求める要素について回答してください。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. 強く求める	2. 求める	3. あまり求めない	4. 必要ない
					
1. 他人から良い評価・評判を受けること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 常日頃から社会の最新動向に触られていること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 家族とのつながりが強いこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 地域や近所どうして助け合いがあること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 他人との交流や接触機会が多いこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 共通の趣味を分かち合える相手がいること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 精神的に負担が少ないこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 静かな環境で暮らすこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. ゆとりある時間を過ごすこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 防犯・防災など安全面が確保されていること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

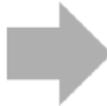
**Q1-2 必須** 以下の生活に関する各項目について、あなたがライフスタイルや日常生活の中で求める要素について回答してください。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. 強く求める	2. 求める	3. あまり求めない	4. 必要ない
					
1. 使い捨てを減らすなど物を大切にすること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 食べ残しを減らすなど食べ物を大切にすること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 周囲に良好な自然環境が保たれていること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 自然に触れ、感じられる機会があること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 清潔であること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 健康的であること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. お金が掛からないこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 自分が活躍できる機会があること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 生活リズムや環境の変化が少ない、 安定的な暮らしであること	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 周囲の人々と同じように暮らすこと	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q1-3** 以下の生活に関する各項目について、あなたがライフスタイルや日常生活の中で求める要素について回答してください。  
**必須** (矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. 強く求める	2. 求める	3. あまり求めない	4. 必要ない
					
1.	「もったいない」と思うことを減らすこと 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.	生活に必要な労力を最小限に抑えること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.	時間の使い方に無駄がないこと 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.	人間関係や環境などに縛られず身軽であること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.	何でも自分で選択できること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.	生活に自分なりのこだわりを持つこと 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.	達成感が得られること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.	自分を成長させられること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9.	刺激や変化があること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.	新しい物を積極的に取り入れること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q1-4** 以下の生活に関する各項目について、あなたがライフスタイルや日常生活の中で求める要素について回答してください。  
**必須** (矢印方向にそれぞれひとつだけ)

		1. 強く求める	2. 求める	3. あまり求めない	4. 必要ない
					
1.	贅沢感があること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.	一人の時間などプライベートが確保されていること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.	生活を楽しむこと 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.	愛着が持てる物に囲まれていること 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q2**  
**必須**

下記の日常の生活行動について、あなたの実施状況としてあてはまるものを回答してください。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)



	1. 実施している	2. 以前実施していたが現在は実施していない	3. 実施した経験はない・あてはまらない
1. 使用していない部屋の照明は消す	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 洗濯物はまとめて洗濯する	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 家族など同居人がいる場合、 在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 手作り弁当を持参する	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 国産または地域産の食材を選択して購入する	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する	➡ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q3-1 前問で「**以前実施していた**」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由について  
必須 お答えください。  
(いくつでも)

「使用していない部屋の照明は消す」

- 1.始めてみたが、気に掛けることが面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.防犯上不在でも照明をつけるようになったから
- 4.在宅の時間帯に変化があり、自宅で照明の使用が減ったから
- 5.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 6.省エネにつながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 7.経済的に余裕ができ、使用を控える必要性が下がったから
- 8.LED照明など省エネ機器・設備の導入で、取り組む意識が下がったから
- 9.家族からの評判が良くなかったから
- 10.同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 11.あてはまるものがない(排他)

Q3-2 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「洗濯物はまとめて洗濯する」

- 1.始めてみたが、干したり片づけたりする時間が増え、面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.洗濯物を溜めると汚れや臭いが落ちにくくなっていたから
- 4.洗濯物が溜まっていることが不衛生に感じたから
- 5.着る服が不足し、不便に感じたから
- 6.家族が増えたり、運動を始めたりして、洗濯物の量が増えたから
- 7.自分で洗濯をしなくなったから
- 8.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 9.節水につながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 10.経済的に余裕ができ、使用を控える必要性が下がったから
- 11.節水性能の高い洗濯機など省エネ機器・設備の導入で、取り組む意識が下がったから
- 12.家族からの評判が良くなかったから
- 13.同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 14.あてはまるものがない(排他)

Q3-3 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
**必須** 答えください。  
(いくつでも)

「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える」

- 1.始めてみたが、テレビやエアコンの使用のために自室から移動することが面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.狭い空間で過ごしたり、一人で過ごす方がリラックスできるから
- 4.自分の好みに合わせて室温を変更したり、テレビの番組などを選択したりすることができなかったから
- 5.在宅時間の変化で実施が困難になったから
- 6.一人暮らしの開始や引っ越しなどで、実施の必要がなくなったから
- 7.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 8.省エネにつながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 9.経済的に余裕ができ、使用を控える必要性が下がったから
- 10.省エネ性能の高いテレビ・エアコンなど省エネ機器・設備の導入で、取り組む意識が下がったから
- 11.家族からの評判が良くなかったから
- 12.同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q3-4 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする」

- 1.始めてみたが、エアコンの温度を気にしたり、扇風機を併用することが面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.室内の快適さの向上を感じなかったから
- 4.自分や家族が体調不良になるなど健康に影響があったから
- 5.省エネへの取組などでエアコン自体の使用が減った、またはエアコン自体がなくなったから
- 6.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 7.省エネにつながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 8.経済的に余裕ができ、使用を控える必要性が下がったから
- 9.省エネ性能の高いエアコンなど省エネ機器・設備の導入で、取り組む意識が下がったから
- 10.家族からの評判が良くなかったから
- 11.同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 12.あてはまるものがない(排他)

Q3-5 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する」

- 1.始めてみたが、手入れや設置作業が面倒に感じたから
- 2.お金を掛けるのがもったいないと感じたから
- 3.金銭の節約効果を感じなかったから
- 4.室内の快適さの向上を感じなかったから
- 5.自然を取り入れ、癒されることを期待したが、癒されなかったから
- 6.イメージしたとおりに育てられなかったから
- 7.虫が発生するのが気になったから
- 8.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 9.省エネにつながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 10.経済的に余裕がなくなり、お金を掛けられなくなったから
- 11.引っ越しなどでベランダや窓に設置できなくなったから
- 12.家族からの評判が良くなかったから
- 13.同じく設置している仲間が周囲にできなかったから
- 14.あてはまるものがない(排他)

Q3-6 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う」

- 1.始めてみたが、手入れなどが面倒に感じたから
- 2.お金を掛けるのがもったいないと感じたから
- 3.自然を取り入れ、癒されることを期待したが、癒されなかったから
- 4.イメージしたとおりに育てられなかったから
- 5.虫が発生するのが気になったから
- 6.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 7.自家栽培による自給自足など環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 8.経済的に余裕がなくなり、お金を掛けられなくなったから
- 9.植樹やガーデニングができない家に引っ越したから
- 10.家族からの評判が良くなかったから
- 11.同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 12.あてはまるものがない(排他)

Q3-7 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「手作り弁当を持参する」

- 1.始めてみたが、弁当箱を持ち歩いたり、使用后洗浄することが面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.健康維持に効果があると感じなかったから
- 4.物を入れすぎるとバックの見栄えが悪くなるから
- 5.弁当の作成や持参することが楽しくなくなったから
- 6.通いたい外食先を見つけたから
- 7.調理が苦手で上手く作成できなかったから
- 8.生活が忙しくなり、弁当の作成や弁当箱の洗浄に手間や時間を掛けられなくなったから
- 9.ゴミを減らすなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 10.経済的に余裕ができ、持参する必要性が下がったから
- 11.外出機会が減ったことなど持参する必要性がなくなったから
- 12.作成した弁当の家族からの評判が悪くなったから
- 13.同じく持参したり、共に食事をする仲間が周囲にできなかったから
- 14.あてはまるものがない(排他)

Q3-8 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」

- 1.始めてみたが、出店準備や出品物の管理が面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.品質が悪く、得したと感じなかったから
- 4.自分の思い通りの値段で売れないなど収入に不満があったから
- 5.売り手や買い手に対する信頼性に疑問が生じたから
- 6.欲しいものを見つけられなかったから
- 7.生活が忙しくなり、出店準備や買い物などの手間や時間を掛けられなくなったから
- 8.物を大切にできるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 9.経済的に余裕ができ、新品を買えるようになったから
- 10.利用していたフリーマーケットやアプリケーション（サイト）がなくなったから
- 11.出店することや買ってきた物などが家族からの評判が良くなかったから
- 12.出店者・利用者どうして仲間でできなかったから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q3-9 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「国産または地域産の食材を選択して購入する」

- 1.始めてみたが、国産または地域産が気にすることが面倒に感じたから
- 2.品質が良いと思えず、お金を掛けるのがもったいないと感じたから
- 3.事件や天災などで安全性や信頼性に疑問が生じたから
- 4.試してみたが自分の好みに合わなかったから
- 5.食べ物にこだわりを持たなくなったから
- 6.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 7.食材の地産地消など環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 8.自分の国・地域の農産業（水産業）の応援になっていると実感が持てなかったから
- 9.経済的に余裕がなくなり、お金を掛けられなくなったから
- 10.購入したい食材を買える店舗が近くになくなったから
- 11.家族からの評判が良くなかったから
- 12.同じく選んで購入している仲間が周囲にできなかったから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q3-10 先程「以前実施していた」と回答した以下の行動について、実施しなくなった理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する」

- 1.始めてみたが、移動が面倒に感じたから
- 2.金銭の節約効果を感じなかったから
- 3.疲れるようになり、体力的に厳しいと感じたから
- 4.運動が好きになれなかったから
- 5.徒歩や自転車での移動が楽しくなくなったから
- 6.生活が忙しくなり、注意を払う手間や時間を掛けられなくなったから
- 7.温暖化対策につながるなど環境にやさしい暮らしをしている実感が持てなかったから
- 8.経済的に余裕ができ、自家用車の使用を控える必要性が下がったから
- 9.自分自身が病気や怪我などを患い、実施が困難になったから
- 10.家族で徒歩や自転車の移動が困難な者が出たから
- 11.家族からの評判が悪くなかったから
- 12.ウォーキングやサイクリング仲間など同じく行っている仲間が周囲にできなかったから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q4-1 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えてください。  
(いくつでも)

「使用していない部屋の照明は消す」

- 1.照明の使用を抑え、金銭の節約になるから
- 2.つけっぱなししているともったいないと感じ、気になるから
- 3.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 4.環境にやさしい暮らしができるから
- 5.家族から評価されたり、または家族と協力して取り組むことができるから
- 6.家の中のルールになっているから
- 7.周りから評価されたり、同じく取り組んでいる仲間ができるから
- 8.以前から習慣になっているから
- 9.あてはまるものがない(排他)

Q4-2 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えてください。  
(いくつでも)

「洗濯物はまとめて洗濯する」

- 1.洗濯機の使用を抑え、金銭の節約になるから
- 2.洗濯に掛かる手間や時間を減らせるから
- 3.まとめ洗いしても清潔さを保てるから
- 4.まとめないと水や電気ももったいないと感じ、気になるから
- 5.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 6.環境にやさしい暮らしができるから
- 7.家族から評価されたり、または家族と協力して取り組むことができるから
- 8.家の中のルールになっているから
- 9.周りから評価されたり、同じく取り組んでいる仲間ができるから
- 10.以前から習慣になっているから
- 11.あてはまるものがない(排他)

Q4-3 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお答えください。  
**必須** (いくつでも)

**「家族など同居人がいる場合、在宅中はリビングで過ごし、自室でのエアコンやテレビの使用を控える」**

- 1. テレビやエアコンなどの使用を抑え、金銭の節約になるから
- 2. リビングの方が落ち着くから
- 3. 部屋ごとの使用を控えないともったいないと感じ、気になるから
- 4. 自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 5. 環境にやさしい暮らしができるから
- 6. 家族から評価されたり、家族との時間を持てるから
- 7. 家の中のルールになっているから
- 8. 周りから評価されたり、同じく取り組んでいる仲間ができるから
- 9. 以前から習慣になっているから
- 10. あてはまるものがない**(排他)**

Q4-4 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「夏は扇風機などを併用し、エアコンの温度設定を控えめにする」

- 1. エアコン温度を抑え、金銭の節約になるから
- 2. エアコン温度を抑えても快適さを保てるから
- 3. エアコンの温度を控えることができるため健康的だから
- 4. つけっぱなしや過剰な温度設定はもったいないと感じ、気になるから
- 5. 自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 6. 環境にやさしい暮らしができるから
- 7. 家族から評価されたり、または家族と協力して取り組むことができるから
- 8. 家の中のルールになっているから
- 9. 周りから評価されたり、同じく取り組んでいる仲間ができるから
- 10. 以前から習慣になっているから
- 11. あてはまるものがない(排他)

Q4-5 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「窓にグリーンカーテンまたはすだれを設置する」

- 1. エアコン温度を抑え、金銭の節約になるから
- 2. 室内の快適さを向上させられるから
- 3. 自然に触れられるなど癒されるから
- 4. 体を動かすきっかけになり、健康につながるから
- 5. 達成感を感じることができるから
- 6. やっていく中でより良い手法を身に付けたいから
- 7. 作業している時間や設置したものの変化などを楽しむことができるから
- 8. 自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 9. 環境にやさしい暮らしができるから
- 10. 家族から評価されたり、共に作業などを楽しめるから
- 11. 周りから評価されたり、同じく設置している仲間ができるから
- 12. 以前から設置しているから
- 13. あてはまるものがない(排他)

Q4-6 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「庭やベランダ、室内などでガーデニングまたは家庭菜園を行う」

- 1.自然に触れられるなど癒されるから
- 2.庭が荒れていると気になるから
- 3.体を動かすきっかけになり、健康につながるから
- 4.生活に贅沢感が生まれるから
- 5.達成感を感じることができるから
- 6.やっていく中でより良い手法を身に付けたいから
- 7.作業している時間やつくったものの変化などを楽しむことができるから
- 8.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 9.環境にやさしい暮らしができるから
- 10.家族から評価されたり、共に作業などを楽しめるから
- 11.周りから評価されたり、同じく行っている仲間ができるから
- 12.以前から行っているから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q4-7 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
**必須** 答えください。  
(いくつでも)

**「手作り弁当を持参する」**

- 1.金銭の節約になるから
- 2.昼食などを買いに行く手間や時間を省けるから
- 3.バランスの良い食事を採れるなど健康につながるから
- 4.使い捨て容器の使用はもったいないと感じ、気になるから
- 5.調理の練習をしたいから
- 6.市販していない食べ物を持ち歩きたいから
- 7.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 8.環境にやさしい暮らしができるから
- 9.家族から評価されたり、共に調理を楽しめるから
- 10.周りから評価されたり、同じく作成したり持参している仲間ができるから
- 11.以前から習慣になっているから
- 12.あてはまるものがない**(排他)**

Q4-8 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
**必須** 答えください。  
(いくつでも)

「フリーマーケットまたはフリマアプリで、物を売ったり買ったりする」

- 1.安価で物を手に入れられるので、金銭の節約になるから
- 2.出店することで収入を得られるから
- 3.物を簡単に捨てるのはもったいないと感じるから
- 4.新しい物にすぐに買い替えるのは贅沢だと感じるから
- 5.自分で価格決定できるから
- 6.物が売れたり、売り上げが上がると達成感があるから
- 7.自身が大切にしたものを他者と共有できることが楽しいから
- 8.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 9.環境にやさしい暮らしができるから
- 10.家族で出店を行う・買い物に出かけるなど家族との時間を持てるから
- 11.周りから評価されたり、出店者・利用者どうして仲間ができるから
- 12.以前から習慣になっているから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q4-9 先程「現在実施している」と回答した以下の行動について、現在実施している理由についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「国産または地域産の食材を選択して購入する」

- 1.国産または地域産の方が品質が良く、安心して買えるから
- 2.国産または地域産の高い食材を使う方が贅沢感があるから
- 3.お気に入りの食材があるから
- 4.食材を通して自分の国や地域について学べるから
- 5.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 6.自分の国・地域の農産業（水産業）を応援したいから
- 7.環境にやさしい暮らしができるから
- 8.家族のために選んで購入しているから
- 9.家族から評価されるから
- 10.周りから評価されたり、同じく選んで購入している仲間ができるから
- 11.以前から国産または地域産の食材を購入しているから
- 12.あてはまるものがない(排他)

Q4-10 先程「**現在実施している**」と回答した以下の行動について、**現在実施している理由**についてお  
必須 答えください。  
(いくつでも)

「近場の移動は自家用車ではなく、徒歩や自転車で移動する」

- 1.交通費や車の維持費などを抑え、金銭の節約になるから
- 2.近場の移動ならその方が便利だから
- 3.体を動かすきっかけになり、健康につながるから
- 4.ゆっくりとした時間が過ごせるから
- 5.近距離の移動で車を使うのはもったいないと感じ、気になるから
- 6.達成感を感じることができるから
- 7.自転車や徒歩での移動が楽しいから
- 8.自分のこだわりやライフスタイルに合っているから
- 9.環境にやさしい暮らしができるから
- 10.家族から評価されたり、家族との時間を持てるから
- 11.周りから評価されたり、同じく取り組んでいる仲間ができるから
- 12.以前から習慣になっているから
- 13.あてはまるものがない(排他)

Q5 あなたはプライベートで情報を入手する際に、主にどの情報源から入手していますか。  
必須 以下の中から、利用頻度が高い情報源を選択し、回答してください。  
(いくつでも)

- 1.テレビ
- 2.ラジオ
- 3.新聞(電子版を含む)
- 4.雑誌
- 5.インターネット検索サイト
- 6.ニュースサイト・ニュースアプリ
- 7.まとめサイト
- 8.SNS
- 9.SNS以外のソーシャルメディア(ブログ、掲示板、動画サイトなど)
- 10.家族や友人などとの会話
- 11.ポスターなど街頭広告
- 12.パンフレット/チラシ
- 13.その他

**Q6-1**  
**必須**

あなたの環境に配慮した行動に関する情報に触れる頻度について回答してください。

- 1.頻繁に触れる
- 2.時々触れる
- 3.あまり触れることはない
- 4.ほぼ触れることはない

**Q6-2**  
**必須**

環境に配慮した行動に関する情報を入手する際の情報源で利用頻度が高いものについて回答してください。  
(いくつでも)

※Q5で選択したプライベートで情報を入手する際の主な情報源に限らず、あてはまるものを選択してください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.テレビ             | <input type="checkbox"/> 8.SNS                              |
| <input type="checkbox"/> 2.ラジオ             | <input type="checkbox"/> 9.SNS以外のソーシャルメディア（ブログ、掲示板、動画サイトなど） |
| <input type="checkbox"/> 3.新聞（電子版を含む）      | <input type="checkbox"/> 10.家族や友人などとの会話                     |
| <input type="checkbox"/> 4.雑誌              | <input type="checkbox"/> 11.ポスターなど街頭広告                      |
| <input type="checkbox"/> 5.インターネット検索サイト    | <input type="checkbox"/> 12.パンフレット/チラシ                      |
| <input type="checkbox"/> 6.ニュースサイト・ニュースアプリ | <input type="checkbox"/> 13.その他                             |
| <input type="checkbox"/> 7.まとめサイト          |   |

**Q7**  
**必須**

あなたの同居家族の形態について回答してください。

- 1.単身
- 2.夫婦のみ
- 3.親子（未成年の子がいる）
- 4.親子（子もすべて成人）
- 5.その他

## 10. 謝辞

---

今回の調査にあたり、筑波大学の調査協力者に多大なるご協力をいただきました。

参考となる先行事例の情報提供、仮説の構築、調査票案の作成や調査結果の解釈における協議、実務的な作業の分担など多岐に渡り、協力をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。